

岡山市中区区づくり推進事業
令和2年度事業報告書

	事業名	ページ
広域交流部門	第23回百間川ふれあいフェスティバル	1～
広域交流部門	たかしま音楽祭2020	9～
身近な交流部門	操明学区「桜祭り」	16～
身近な交流部門	三世代交流ふれ合いフェスタうの2020	24～
身近な交流部門	ふれあい夏まつり in 竜之口	32～
身近な交流部門	平井まつり“2020”	43～
身近な交流部門	第18回富山文化まつり	51～
身近な交流部門	第32回沢田柿まつり	59～
地域活動部門	地域づくり会議の運営と事業展開	71～
地域活動部門	地域防災力の向上	81～
地域活動部門	とみやま助け合い隊	93～
地域活動部門	竜之口学区防災マップ作成	102～

岡山市区づくり推進事業報告書

(広域交流部門)

令和 2 年 11 月 17 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ 団体名 百間川ふれあいフェスティバル実行委員会

所在地

連絡先

代表者役職・氏名 実行委員長 西崎 和良

*提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	第 23 回百間川ふれあいフェスティバル	
事業実施区域 (小学校区)	宇野・旭竜・高島・幡多・財田・竜之口・三敷学区	
① 地域の特色	※事業申込書に記入した内容について記入してください。 ★歴史的経過がある「百間川」をテーマとしています。 地域住民との交流、百間川とのふれあい、歴史的役割の認識、地域防災意識の向上、治水・利水・環境等河川管理の重要性等を来場者に知ってもらいます。 地域らしさをアピールするために、このフェスティバルを通じて、百間川の素晴らしさ、役割や重要性をさらに深め、「百間川」が岡山市民の身近な憩いの場・地域連帯の場・行政と民間との協働の場とすることによって地域性を向上させていきたい。	
② 事業の目的・ 成果	該当事業項目に○を(複数可)	ア 防犯 ① 防災 ㊦ 環境 エ 支え合い ㊧ 健康 ㊨ カ 自然等 キ 特産物等 ㊩ 人・歴史・文化等 ケ その他
※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、事業の実施によって、地域にどのような効果が生まれたか、或いは地域課題の解決につながったなどといった成果(効果)について記入してください。		
百間川ふれあいフェスティバルを通じて地域との連帯感を醸成するだけでなく地域の発展と自然環境に対する認識、百間川の歴史・役割などを市民の皆さんに知っていただくことにより河川管理の大切さ、河川が果たす治水・利水についての理解を深めると同時に環境美化運動・ゴミ減量化運動など行政と地域が協働して、まちづくりに取り組まなければならない姿を啓発し市民づくりに貢献したいと考えています。過去 22 回にわたり実施した「百間川ふれあいフェスティバル」は、百間川の歴史的な経緯・役割などの理解を深めること及び地域との連帯感・一体感を醸成するだけではなく、環境保全・地域の活性化による地域の発展・青少年健全育成等初期の目的を果たせつつあるといえます。		

③ 事業の内容

次の通り開催予定だったが新型コロナウイルス感染症対策のためすべて中止した

○開催日時: 令和2年4月26日(日曜日) 9時 ~ 15時

○開催場所: 岡山市中区東川原地先 百間川ワイワイ広場

○事業実施内容

※事業内容・方法・対象など、具体的な実施結果の内容について記入してください。

第23回目は、次のテーマで実施予定

百間川の自然と歴史と役割を知ろう、百間川の自然と環境を守ろう

育もう豊かな心を、楽しもう河川広場で

防災意識の向上に努めよう

ごみの問題ですが、ポートボール・グランドゴルフ・軟式野球・ソフトボール大会・テニス大会終了後には参加選手全員で使用した会場ならびにその周りを清掃します。環境問題の啓発にもなります。ボランティアスタッフとして近隣の中学校、高校の生徒を募集します。その仕事内容としては、献血のパンフレット配布・行政ブース・会場内スタンプラリーなどの手伝いを考えています。青少年健全育成に役立ちます。

第23回百間川ふれあいフェスティバル

○開催日時: 令和2年4月26日(日曜日) 9時00分 ~ 15時00分

雨天時: 小雨決行、中止、(延期) 4月29日水曜日 9時00分 ~ 15時00分

○開催場所: 岡山市中区東川原地先 百間川ワイワイ広場

第23回百間川ふれあいフェスティバル 児童・園児写生コンテスト表彰式ならびに作品展示

○開催日時: 令和2年7月29日(水)~31日(金)

○開催場所: 岡山市中区役所2階(表彰式)1階(展示)

第23回百間川ふれあいフェスティバル ファジアーノサッカースクール

○開催日時: 令和2年8月1日(土)

○開催場所: 百間川サッカーラクビー場

○事業内容

※実施する事業の内容・方法・対象などについて、具体的に記入してください。

1. 百間川の自然と歴史と役割を知ろう

- (1) 国土交通省岡山河川事務所(歴史と役割) パネル展示等
- (2) 岡山県古代吉備文化財センター(歴史) 百間川埋蔵文化財展示
- (3) 岡山淡水魚研究会(自然) 百間川に生息している魚や虫を水槽展示
- (4) 水辺教室(自然) 川に入る体験を通じて百間川的环境を知る
- (5) 防災への啓発活動 取組紹介等

2. 百間川の自然と環境を守ろう

- (1) 岡山市環境保全課(環境) 環境問題に関する啓発パネル展示
- (2) 水辺教室(自然・環境) 川に入る体験を通じて自然を守る
- (3) 高齢者グランドゴルフ・学童ポートホールなどの大会参加者で会場とその周りを清掃

3. 育もう豊かな心を

- (1) 児童・園児による写生コンテストの開催 ①写生大会 ②絵画指導
- (2) 前年度の応募絵画の展示
- (3) 近隣の中学校・高校のボランティアスタッフを募集し事業などの手伝をしてもらう

4. 楽しもう河川広場で

- (1) 宇野小学校児童による吹奏楽演奏(宇野学区)
- (2) 操山中学校生徒による吹奏楽演奏(宇野、三敷学区)
- (3) チアリーディングの披露(IPU環太平洋大学)
- (4) 太鼓の演奏(宇野学区)

- (5) 学童ポートボール大会(宇野、旭竜、幡多学区)
- (6) グランドゴルフ大会 競技終了後、希望者に対し、競技を指導
(宇野、旭竜、高島、幡多、竜之口、財田、三勲学区)
- (7) 少年ソフトボール大会(宇野、旭竜、高島学区)
- (8) 少年軟式野球大会(宇野、旭竜、高島学区)
- (9) テニス大会
- (10) ファジアーノ少年サッカー教室

その他の取組

- (1) 献血と献血啓発活動
- (2) 自衛隊岡山地方協力本部
- (3) 岡山市消防局
- (4) 岡山市都市整備局公園緑地部緑化推進課
- (5) 岡山市公園協会

運営スタッフ人数	120 人	来場者数	0 人
出演者人数	0 人	天候	

④ 事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、実施結果の内容を反映して具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、併せて経費の節減や自主財源の確保などの取り組みや前年度からの見直しなどについて、実施結果の内容を反映して記入してください。

★下記のような取り組みをする予定だったが中止のためできなかった

令和平成31年3月9日開催の審査会事前審査に対する取り組み(1)(2)(3)

令和元年5月12日開催の審査会事後評価に対する取り組み(4)

- (1) 水辺教室等の水と触れ合うような事業を開催して子供たちに環境問題の大切さなどを身近にあるもので考えるような場を提供したい。今回もカヌー教室が開催できるように努力したい。
- (2) 平成30年7月の水害の記録写真を展示し、水害マップ等を掲示して防災意識の向上に努めたい。
- (3) 予算を抑え、なおかつデザイン的にアイデアを絞って、みんなの目に付き、かつ見に来てくれるようなチラシを考えたい。
- (4) 会場全体のレイアウトを見直し行政の展示ブースをメインゲートの近くに配置したい。
- (5) 百間川の歴史的な役割の認識、地域防災意識の向上を今一度PR強化していき、また治水・利水・環境等河川管理の重要性等、百間川がその役割を担って行く現状等を正しく認識していただけるようさらに努力していきたい。また、地域のまちづくりとなるような企画も考えていきたい。
- (6) 中学生ボランティアも参加が定着しているので、今年以降はこのボランティアの輪を広げるために、近隣の学生にも声掛けし、子供たちの参加を促すことにより、今後の運営アイデアなども含めた内容作りにもより良い意見を求め、実行できる子供たちの現場フィールド作りを念頭におき積極的に参加してもらう場を作っていきたい。
- (7) 今年もサッカー教室を開設し、ファジアーノ岡山の協力を得て地元で根ざすサッカーチームもPRし岡山の活性化にも協力していきたい。
- (8) 時流にあったまた予算のかからない新しい企画を考えて、また収入の上がりにくい時節あまり皆に負担のかからないような運営体制を構築し、かつマンネリ化しないように今後の組織も含めて運営していきたい。

○その他 PR したい点

※その他 PR したい点があれば記入してください。

この百間川ふれあいフェスティバルを通じて、行政課題の一つでもある

- ① 地域の活性化
- ② 環境問題
- ③ 環境保全
- ④ 青少年の健全育成
- ⑤ 高齢者の生きがいづくり
- ⑥ 危機管理意識の向上
- ⑦ 百間川スポーツ広場の活用
- ⑧ 防災問題

などの視点を取り入れたフェスティバルにしたいと考えている

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。)

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑤ 今後の課題 (次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

※事業実施後の反省に基づき、改善の必要がある事項等について、具体的に記入してください。そして、次年度に向けての取り組みや対応策などについて記入してください。併せて本事業の将来像や課題等についても記入してください。

取り組み自体はすべて中止となってしまいましたが、個別の少人数の屋外の事業に関しては関係各位と新型コロナウイルス感染症対策に取り組みながら実行していきたい。

⑥ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けて、具体的な内容について記入してください。

- Ⅰ チラシを作成配布、Ⅱ HPに掲載、Ⅲ 市の広報紙に掲載、Ⅳ TV、ラジオで公開、Ⅴ その他 ()

内 容

⑦ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙して)

年 月 日	内 容
令和1年12月11日	第23回を開催することに決定をする
令和2年1月15日	企画会議をする 今年もカヌー教室開催について情報を集める
1月22日	運営組織と役割とスケジュールの確認をする
2月5日	チラシの確認をする
2月12日	カヌー関係者と打合せし開催決定を確認する
2月26日	コロナの関係で開催可否の検討をする 関係者各町内会長あてに書類を郵送する(3月3日郵送)
3月11日	イベントの中止を決定する 関係者や各町内会長あてに中止案内の書類を郵送する(3月17日)
4月8日	協賛金・出展料の返金作業がすべて終了
5月13日	すべての支払い等の手続きが終了 次年度の開催を検討し、するという方向に決まりました。ただし新型コロナウイルス感染症対策との兼ね合いにもよります

⑧ 事業運営への参加状況

事業運営への参加予定団体等	事業運営のスタッフ人数
宇野学区連合町内会	24
旭竜学区連合町内会	4
高島学区連合町内会	4
幡多学区連合町内会	4
財田学区連合町内会	4
竜之口学区連合町内会	4
三敷学区連合町内会	4
岡山市消防団宇野分団	16
宇野学区体育協会	20
宇野学区婦人会	2
宇野学区交通安全対策協議会	2
宇野学区子ども会育成連絡協議会	6
宇野学区交通安全母の会	2
宇野地区愛育委員会	2
宇野学区老人クラブ連合会	2
宇野学区コミュニティー協議会	4
旭竜学区子ども会育成連絡協議会	2
岡山せとうちライオンズクラブ	14
計	18団体 120人

⑨ 事業実施メンバー

	申込団体 での 役職	氏 名	住 所	年 齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	大会会長				宇野学区連合町内会会長
2	副会長				旭竜学区連合町内会会長
3	〃				高島学区連合町内会会長
4	〃				幡多学区連合町内会会長
5	〃				財田学区連合町内会会長
6	〃				竜之口学区連合町内会会長
7	〃				三敷学区連合町内会長
8	〃				宇野学区コミュニティー協議会会長
9	〃				岡山市消防団宇野分団分団長
10	〃				宇野学区交通安全対策協議会会長
11	〃				宇野学区体育協会会長
12	〃				宇野学区婦人会会長
13	〃				宇野学区体育協会会長
14	〃				宇野学区交通安全母の会会長
15	〃				宇野学区子ども会育成連絡協議会会長
16	〃				宇野地区愛育委員会会長
17	〃				宇野学区老人クラブ連合会会長
18	〃				宇野小学校 PTA 会長
19	〃				岡山せとうちライオンズクラブ
20	実行委員長				宇野学区
21	副実行委員長				宇野学区
22	総務部会				岡山せとうちライオンズクラブ
23	〃				宇野学区
24	〃				幡多学区
25	企画部会				宇野学区
26	〃				高島学区
27	〃				幡多学区
28	〃				三敷学区
29	〃				幡多学区
30	〃				三敷学区
31	会場・出店部会				幡多学区
32	〃				三敷学区
33	〃				幡多学区
34	〃				宇野学区
35	〃				旭竜学区
36	〃				幡多学区
37	〃				高島学区
38					

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
岡山市補助金	900,000	72,700	
協賛金	650,000		パンフレット掲載料
負担金	350,000		店舗出店料
広告料			
寄付金、他収入		72,838	寄付金
計	1,900,000	145,538	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	190,000	48,580	コピー用紙、封筒、プリンターインク等
②食糧費	170,000		
③印刷製本費	250,000	23,215	コピー、印刷代等
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	150,000	47,239	運送代、電話代、切手代等
⑦広告料	27,000	19,140	ばど、ジョイ新聞広告掲載代
⑧手数料	55,000	1,364	振込手数料
⑨使用料	700,000		
⑩原材料費	30,000		
⑪委託料	230,000	6,000	ドメインサーバー使用料
⑫工事請負費			
⑬報償費	60,000		
⑭保険料	38,000		
計	1,900,000	145,538	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。

岡山市区づくり推進事業報告書 (広域交流部門)

令和3年1月 〆 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ 団体名 : たかしまおんがくさいじつこういんかい
高島音楽祭実行委員会

所在地 : [Redacted]

連絡先 : [Redacted]

フリガナ 代表者氏名 : 会長 鈴木 正 二

* 提出した事業報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	たかしま音楽祭・2020	
事業実施区域 (小学校区)	高島学区・旭竜学区	
① 地域の特色	<p>高島・旭竜学区は、西に旭川、百間川、北に竜の口山を擁し、豊かな自然環境に恵まれ、多くの歴史的遺産も有し、文化の香り高い地域である。</p> <p>特に当地域は百間川の源流部にあたり、そこには「せせらぎ広場」という広場があり、4月初めには、広場沿いに「金平桜」が咲き誇り、年間を通して、保幼小の子どもたちが、遊びや学習のために訪れ、また多くの市民の憩いの場となっている。</p> <p>旭竜学区は、高齢化率が高いが、高島学区は宅地化がどんどん進み、若い人が多く移住してきていて、高齢化率が低い。このため、旭竜学区は福祉に熱心に取り組み、「福祉の町旭竜」と言われているが、一方の高島学区は躍動する町として、小学校、中学校を中心として、音楽、スポーツ活動が盛んである。</p>	
② 事業の目的	該当事業項目に○を(複数可)	<p>ア 防犯 イ 防災 ウ 環境 エ 支え合い</p> <p>オ 健康 カ 自然等 キ 特産物等</p> <p>ク 人・歴史 ク 文化等 ケ その他</p>
<p>(1) 学区の垣根を越えて、小さな子供からお年寄りまで幅広く、野外で春の日差しを浴びながら、音楽を通じて親睦・交流を図り、互助の精神を養う。</p> <p>(2) 地域の高齢者に対して、ひと時のくつろぎの場を提供する。</p> <p>(3) 小学生・中学生の時から、地域のボランティア活動に触れながら、豊かな心を育て、やがては次世代の実施メンバーへと育てる。その入口のひとつとなるイベントにしたい。</p> <p>(4) 豊かな音楽資源をとおした地域文化の創造 豊かな自然の中で、音楽祭を開催することにより、両学区内に住む人々に楽しい音楽を提供すると共に、地域文化を創造する。</p>		

③ 事業内容

次のとおり、開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のため中止した。

○開催日時：2020年5月30日(土曜日)11時10分～15時30分

雨天時：**(小雨決行)** 中止、延期： 月 日 曜日 時 分 ～ 時 分)

○開催場所：百間川せせらぎ広場(岡山市中区今在家地先<岡山市中消防署南側>)

○事業内容 開催行事

- (1) ワイラ・ジャパン(ペルー人)の演奏
- (2) ギター演奏・弾き語り(流しのSIVAちゃん)
- (3) うらじゃ演舞(我喜屋)
- (4) 和太鼓演奏(和太鼓)
- (5) 高島公民館講座クラブ・なつかしい唱歌
- (6) 香月ダンスファミリー(KDF)のダンス
- (7) 岡山市消防音楽隊の演奏
- (8) 私立就実高等学校・中学校吹奏楽部の演奏

◎ 他に、町内会、有志による屋台の出店

④事業の実施

○ 企画・運営・予算などの工夫

次のとおり工夫する予定であったが、開催を中止したためできなかった。

- (1) 来場者に百間川の歴史を知ってもらうため、1つのブースを設けて、百間川の歴史と現状のパネル展を行う。
- (2) これまで、いずれも天気のよい日に実施できたが、来場者が、日射を避けて桜の木陰に集中する傾向があった。このため、今回は、芝生のスロープ部分に来場者用いす(4人掛け×50脚=200人)を設け、テントも4張り設置する。また、芝生の上にブルーシートを敷き、座って聴くことができるようにする。
- (3) ステージの後背部がグラウンドなので、楽器が砂ほこりをかぶる恐れがある。このため、楽器がいたまないように、ステージの3方を幕で覆うこととした。
- (4) 今回も若い学生ボランティアに参加してもらう予定である。
- (5) 障がい者に優しいイベントになるように、障がい者専任のボランティアを2名配置する。車の誘導、車椅子での会場案内を担当する。
- (6) 雨天でも、できるだけ多くの演目を実施できるように、ステージを大きくした。

○ 区づくり推進事業審査会からの助言等に対する取り組み

■ 事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

- ・ ブルーシート、イス、テントなどの来場者への配慮は評価できます。
- ・ 障害者を含め、どのような人でも来場できるように改善を行っているので期待しています。
- ・ 予算規模が大幅に増大している点は気になります。収入予定の企業協賛金も増えますが、実際に集めることができるのか少し疑問があります。

上記とおりの意見をいただいたが、開催を中止したため実現できなかった。

コロナ禍で景気が悪い中で、多くの協賛金を募るのは難しく、来年度は規模を縮小して開催したい。

○ 上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等（下記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、下記の結果となった理由、自己評価等について、記入してください。）

開催を中止したため、まったくできなかった。

助言内容について、事業へ繁栄できましたか。

- Ⅰ 出来た
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑤ 今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

コロナ禍の中で、次のような工夫が必要である。

- (1) 予算規模を100万円以下に抑制する。
- (2) 会場のソーシャルディスタンスを確保する。
- (3) 飲料水以外の販売を止める。原則として弁当、飲料水は持参とする。
- (4) 出演者数もソーシャルディスタンスを確保できるように少なくする。
- (5) 1出演者の持ち時間を20分とし、8組に限定する。
- (6) 午後3時半には終了するようにする。

⑥ 事業の情報公開

該当するもの全てに○を付けてください。

次のとおり計画したが、開催を中止したため、まったくできなかった。

- Ⅰ チラシを作成配布、Ⅱ HPに掲載、 Ⅲ 市の広報紙に掲載、Ⅳ TV、ラジオで公開、 Ⅴ その他(山陽新聞に掲載)

内容

開催を中止したので、ポスター、チラシを作成しなかった。

⑦ 事業実施計画（企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください。）

年 月 日	内 容
令和元年11月21日	・第1回実行委員会・・・令和2年度の計画案、区づくり推進事業申込書案の協議
令和2年 4月11日	・第2回実行委員会・・・新型コロナウイルス感染予防のため、開催の中止を決定

令和2年 4月15日 ～4月20日	・関係者に開催中止の通知・・・出演者、関係町内会、協賛企業・団体 国会・県議会・市議会議員等
令和2年10月 4日	・令和3年度の開催に向けて、駐車場確保のため、百間川の草刈りを実施
令和2年11月28日	・第3回実行委員会・・・今年度の反省、令和3年度の計画案、区づくり推進 事業申込書案の協議

⑧ 事業への参加状況

次のとおり計画したが、開催を中止したため参加はなかった。

事業運営への参加団体等	参加人数(人)
国府市場東町町内会	3
祇園上町内会	2
祇園下町内会	8
中の里町内会	1
段原町内	5
山浦町内会	1
中井町内会	1
祇園山手町内会	1
今在家町内会	5
藤の里町内会	1
国府市場町内会	2
国府市場出村町内会	3
高島学区民生委員・児童委員協議会	3
祇園下子ども会	5
高島学区体育協会	2
高島公民館	1
中島町内会	10
八幡町内会	7
高島一丁目町内会	1
高島二丁目西町内会	1
高島二丁目東町内会	1
八幡東町町内会	1
高島公務員住宅自治会	1
旭竜小学校 PTA	1
旭竜学区子ども育成会連絡協議会	1
旭竜学区民生委員・児童委員協議会	1
旭竜地区社会福祉協議会	1
旭竜学区婦人会	1
旭竜学区体育協会	1
旭竜学区環境衛生協議会	1

旭竜学区老人クラブ連合会		1
岡山市消防団宇野分団		1
旭竜学区おやこクラブ・どんぐり会		1
実高等学校・中学校吹奏楽部		95
高島公民館なつかしい唱歌クラブ		15
うらじゃ踊り連・俄嘉屋		20
岡山市消防音楽隊		15
社会福祉法人 昭友会		10
社会福祉法人 金曜会(わくわく祇園'S)		3
香月ダンスチーム		40
和太鼓笑(にこ)チーム		10
計	41団体	284人

(⑨ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備考(加入団体等)
1	会長				祇園上町内会
2	副会長				段原町内会
3	〃				八幡町内会
4	会計				祇園下町内会
5	実行委員				国府市場東町内会
6	〃				今在家町内会
7	〃				藤の里町内会
8	〃				市場出村町内会
9	〃				祇園山手町内会
10	〃				山浦町内会
11	〃				高島学区民生委員
12	〃				祇園下町内会
13	〃				〃
14	〃				国府市場町内会
15	〃				国府市場東町内会
16	〃				国府市場町内会

17	〃				祇園下町内会
18	〃				〃
19	〃				〃
20	〃				段原町内会
21	〃				岡山市消防団宇野分団
22	〃				中島町内会
23	〃				八幡町内会
24	〃				中島町内会
25	〃				(社福)昭友会
26	協力団体				祇園下子ども会
27	〃				〃
28	〃				〃
29	〃				(社福)金曜会

令和2年度・収支決算書(補助対象分)

◆ 収 入

単位：円

項 目	予算額	決算額	備 考
岡山市補助金	785,000	20,700	(見込み額)
協賛金	180,000	0	連合町内会・単位町内会
負担金	0	0	
広告料	500,000	0	企業・団体
寄付	100,000	20,742	寄付金
その他収入	5,000	0	
計	1,570,000	41,442	

◆ 支 出

単位：円

項 目	予算額	決算額	内 容(必ず記載して下さい)
消耗品費	200,000	13,317	チューブファイル (4冊 1,298円)、ラベルシール(2,200円)、領収書冊子 (2冊 677円) クリアホルダー (677円)、クリアボックス (2,362円)、大型封筒 (100枚 932円)、プリンターインク (2,370円)、混合油 (513円)、草刈機替え歯 (2,288円)
食糧費	8,000	777	お茶代 (777円)
印刷製本費	50,000	400	開催中止文書印刷 (400円)
通信運搬費	258,000	26,948	切手代 (23,798円)、はがき代 (3,150円)
手数料	7,500	0	
使用料	634,600	0	
原材料費	35,000	0	
委託料	33,000	0	
工事請負費	198,000	0	
報償費	140,000	0	
保険料	5,900	0	
計	1,570,000	41,442	

令和2年度・高島音楽祭会計監査報告

令和2年度・高島音楽祭についての会計監査結果を、次のとおり報告します。
帳簿の記入及び証憑書類は適正に処理されており、使途及び収支の決算に間違いのないことを認めます。

令和3年1月10日

高島音楽祭実行委員会

監事

監事

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和 2 年 12 月 9 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ そうめいがつくさくらなみきじつこういんかい
 団体名 操明学区桜並木実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ じつこういんちよう いけだ ゆたか
 代表者役職・氏名 実行委員長 池田 裕

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	操明学区「桜祭り」	
事業実施区域 (小学校区)	操明小学校区	
① 地域の特徴	<p>※事業申込書に記入した内容について記入してください。</p> <p>操明学区は東に百間川、西に旭川、南に児島湾と面しており、3方が水に囲まれた地域である。この地域は江戸時代の干拓によって生まれており、歴史も浅く、歴史的建造物や文化遺産は明治時代以降のものしかないのが現状である。</p> <p>地域の社会資本として、また自然遺産として植樹された桜並木を通して、学区の一体感や自然愛護精神を広めていきたい。</p>	
② 事業の目的・ 成果	該当事業項目に○を(複数可)	ア 防犯 イ 防災 <input checked="" type="radio"/> 環境 <input checked="" type="radio"/> 支え合い オ 健康 <input checked="" type="radio"/> 自然等 キ 特産物等 ク 人・歴史・文化等 ケ その他
<p>※①の「地域の特徴」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、事業の実施によって、地域にどのような効果が生まれたか、或いは地域課題の解決につながったなどといった成果(効果)について記入してください。</p> <p>学区内の百間川西岸土手に17前に完成した桜並木は、岡山市の桜の名所として定着しつつある。この桜並木を学区の財産として大切に育て、更に啓蒙を広める目的で実施されてきた「桜祭り」も今年で18回目の実施となり、学区をあげた事業として欠かせられないものとなってきている。</p> <p>また、連合町内会・各種団体・PTA・親父の会・スポーツ少年団・かがやきクラブ・農協・福祉施設まで、学区内のほとんど全ての団体に参加・協力をいただいていることで、学区全体の連帯感・一体感を高めることにつながると期待している。</p>		

③ 事業の内容

○開催日時: 令和 2年 4月 5日(日曜日) 10時 00分 ~ 15時 30分

○開催場所: 岡山ふれあいセンター(岡山市桑野) 芝生広場及び軽スポーツ広場

○事業実施内容

※事業内容・方法・対象など、具体的な実施結果の内容について記入してください。

次の通り開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

- ① 桜並木及び桜祭りの写真展(1か月ほど前よりふれあいセンター内のプロムナードで実施)
- ② 「桜の樹にみんなで花を咲かせましょう」コーナー
(大きな桜の樹にメッセージを書いた花びらをみんなに書いて貼り付けてもらいます。)
- ③ 小学生によるポスターコーナー(様々な桜の絵が楽しめます。)
- ④ レクリエーション(ゲーム・昔遊び・グラウンドゴルフ・ふわふわハウス・竹とんぼ作成)コーナー
- ⑤ ステージ(吹奏楽・コーラス・大正琴・太鼓・大型紙芝居・ジャズ等)
- ⑥ 飲食及び展示テント(各種団体・JA・学区内協力企業・岡山県ポート連盟・消防等行政機関)
- ⑦ スタンプラリー(会場内、桜並木の見学場所等をクイズを解きながら訪れてもらいます。
会場・ステージ・ゲームコーナー・スポーツコーナーの各々が連結し、ふれあいセンター内や桜並木見学場所も含め、スタンプラリー等で全てのエリアの踏破を楽しく目指してもらいたいと思っています。

学区外で依頼をしている団体はほとんどなく、ほぼ学区内団体のみで運営している。テントの飲食コーナーなどは、自主運営で、本部が関与しないでも各団体に責任をもって行ってもらっている。

運営スタッフ人数	267人	来場者数	人
出演者人数	172人	天候	

④ 事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、実施結果の内容を反映して具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、併せて経費の節減や自主財源の確保などの取り組みや前年度からの見直しなどについて、実施結果の内容を反映して記入してください。

次のような取り組みをする予定だったが、中止のためできなかった。

桜並木及び前年度の桜祭りの様子を写真展として掲示する。同写真パネルを岡山ふれあいセンター内のプロムナードに、桜祭り実施1か月前から掲示し桜祭りの事前案内を行う。また、三幡軽便鉄道の模型を展示し、学区の歴史を紹介する。

一昨年の西日本豪雨による甚大な被害は、干拓地である当学区も他人事ではない。国土交通省と連携し、水害や地震等による液状化被害についてのパネル展示を行う予定である。

また、食糧費(比率)が高いというご指摘を受けたので、小学生のポスター作製の際にお渡ししている食券の費用等を食糧費ではなく報償費として計上していくよう変更した。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

- ・桜並木を通して学区の一体感や自然愛護精神を広めたいという一貫性のある内容のように感じました。
- ・桜並木が売り物なので、桜並木の保存・整備により力を入れてほしいです。
- ・多くの団体の参画により、効率的な運営がなされていると思います。
- ・永続実施が可能な体制整備の構想をお持ちの点は、高く評価できます。
- ・食糧費、報償費の区分けは改善されていると思います。

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。)

- ・今年度は、コロナウィルス感染症の感染拡大に伴い、桜祭りは中止となりました。
- ・中止の連絡と、桜並木・桜祭りの啓蒙のため、3月下旬から4月6日まで、岡山ふれあいセンターのプロムナードに、桜並木と桜祭りのパネル展示を行いました。
- ・中止の決定前に操明小学校の生徒に作成してもらっていたポスターを、桜祭り実施予定日(4月5日)に岡山ふれあいセンターに展示いたしました。

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑤ 今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

※事業実施後の反省に基づき、改善の必要がある事項等について、具体的に記入してください。そして、次年度に向けての取り組みや対応策などについて記入してください。併せて本事業の将来像や課題等についても記入してください。

事業中止に伴い、記載事項なし。

⑥ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けて、具体的な内容について記入してください。

① チラシを作成配布、② HPに掲載、Ⅲ 市の広報紙に掲載、Ⅳ TV、ラジオで公開、Ⅴ その他（ ）

内 容
 学区内の全戸にチラシを配布後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止が決定した。その後、3月上旬に中止決定の連絡を町内会回覧で連絡し、HP上にも中止決定の連絡を掲載した。

⑦ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙して)

年 月 日	内 容
1年 11月 24日	連町理事会で出店・ステージ参加依頼
2年 1月 10日	実行委員会準備会議(担当割り決定)
2年 1月 21日	実行委員会(出展内容の確認、各種団体長会議の準備)
2年 1月 26日	各種団体長会議
2年 2月 4日	実行委員会(出演・出店団体代表者会議の準備)
2年 2月 9日	出演・出店団体代表者会議
2年 2月 23日	連町役員会で実施案提示、協力要請
2年 3月 3日	実行委員会(コロナウイルス対応) その後、連町会長・実行委員長・コミュニティー会長で協議し、中止を決定。各種連絡文等の作成を行う。
2年 3月 20日	実行委員会(4月5日のポスター掲示の準備)
2年 4月 5日	実行委員会(会場でポスター掲示の作業)

⑧ 事業運営への参加状況(予定)

事業運営への参加団体等	事業運営のスタッフ人数
連合町内会	15
交通防犯協議会	35
交通安全母の会	20
体育協会	40
社会福祉協議会	8
環境衛生協議会	8
愛育委員会	16
親父の会	14
操明小学校PTA	10
操明幼稚園PTA	5
操南中学校PTA	15
操明学区コミュニティー協議会(当日司会含む)	12
電子町内会	7
連合自主防災会	7
かがやきクラブ	10
かがやきクラブ江並上	12
かがやきクラブ二番用水	5
かがやきクラブ藤崎下	13
三幡消防団	7
JA三幡婦人部	8
大型紙芝居ぶんちやっちや	11
大正琴同好会	9
操南中学校吹奏楽部	46
岡山市レクリエーション協会	6
操明グランドゴルフ同好会	10
コーラス	15
太鼓同好会	70
岡山県ボート連盟	5
計	28団体
	439人

⑨ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	委員長	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(広報・植樹担当)コミュニティ協議会 副会長
2	〃				(整備・美化担当)環境衛生協議会会長
3	副委員長				連合町内会会長
4	〃				連合町内会副会長、コミュニティ協議会 会長
5	理 事				連合町内会副会長、藤崎下担当・環衛協副会長
6	〃				〃、江並下担当・自主防災会会長
7	〃				〃、藤崎上担当・青少年育成代表
8	〃				〃、桑野下担当・健康21
9	〃				〃、江並中担当・地域活性化
10	〃				〃、江並上担当・地域活性化
11	〃				連合町内会理事長、地区活性化支援
12	〃				体育協会会長
13	〃				愛育委員会会長
14	〃				社会福祉協議会会長
15	〃				交通防犯協議会会長
16	〃				交通安全母の会会長
17	〃				操明小学校校長
18	〃				操明幼稚園園長
19	〃				操明小学校PTA会長
20	〃				操明幼稚園PTA会長
21	〃				操南中学校PTA副会長
22	〃				親父の会
23	〃				学校施設開放運営委員長
24	〃				かがやきクラブ会長
25	〃				〃
26	〃				〃
27	〃				コミュニティ協議会 副会長

28	委員		連合町内会総務
29			連合町内会理事
30			//
31			//
32			//
33			//
34			//
35			三幡漁協
36			JA三幡婦人部
37			コミュニティ協議会
38			//
39			//
40			//
41	会計		//
42	監査		連合町内会会計

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
岡山市補助金	241,000	35,800	
協賛金	208,000	35,864	連合町内会より補助
負担金	18,000		
広告料			
寄付金、他収入	15,000		
計	482,000	71,664	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	55,000	41,114	事務文具代
②食糧費	110,000	15,550	事前会議飲料代
③印刷製本費	15,000		
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	5,000		
⑦広告料	55,000		
⑧手数料	1,000		
⑨使用料	1,000		
⑩原材料費			
⑪委託料	45,000		
⑫工事請負費			
⑬報償費	185,000	15,000	ポスター作製謝礼
⑭保険料	10,000		
計	482,000	71,664	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和 3 年 1 月 28 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ サンセダイコウワクフレアイフェスタウノジッコウインカイ
 団体名 三世代交流ふれ合いフェスタウの実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ
 代表者役職・氏名 実行委員長 西川 良典

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	三世代交流ふれ合いフェスタウの2020	
事業実施区域 (小学校区)	宇野小学校区	
① 地域の特色	<p>※事業申込書に記入した内容について記入してください。 昭和30年代までは近郊農業地帯であったが、現在では市街地へと発展し、核家族化が進み、高齢者と新世代の世帯が増加してコミュニケーションの場が必要となっている。</p> <p>当地域は、概ね標高5m前後あり、南海トラフ巨大地震による津波の心配は無いが、震度6弱も予想されている。旧旭川が通っていたため、地盤の脆弱性から液状化が起こりやすい。宇野学区は、ほとんどが旭川と百間川に囲まれている。そのため、一昨年7月初旬の西日本豪雨時では、護岸工事がほぼ完了しており、大きな被害はなかったが、想定外の降雨量により内水によって、いたるところで道路は冠水し、部分的に床上浸水をした。</p> <p>しかしながら、大きな災害を経験しておらず防災意識が低く、防災についての啓蒙が重要課題となっている。</p> <p>また、岡山県の名門校県立岡山操山中学校・高等学校、発展著しい就実大学が存る文教地区であり、学生ボランティアとの交流が容易で実績もある。</p> <p>平成21年には、岡山市も政令市となり、中区役所を当学区に誘致できた。岡山中央警察署も存り、その警察署の指導によりゾーン30も岡山市内で一番に完成できた。文教・行政・防犯の中心学区として、新旧住民がふれ合い融和することの大切さを認識することにより、さらなる発展が期待される地域である。</p>	
② 事業の目的・成果	該当事業項目に○を(複数可)	ア 防犯 <input checked="" type="checkbox"/> イ 防災 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 環境 <input checked="" type="checkbox"/> エ 支え合い オ 健康 カ 自然等 キ 特産物等 ク 人・歴史・文化等 <input checked="" type="checkbox"/> ケ その他

※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、事業の実施によって、地域にどのような効果が生まれたか、或いは地域課題の解決につながったなどといった成果(効果)について記入してください。

イベント企画を通して学区内各種団体・学生ボランティアとの交流を図り、三世代交流及び障がい者交流の場を提供し、地域の連帯感を醸成するとともに、ふれ合いのある住みよい明るい地域社会を築くことを目的とする。

③ 事業の内容

○開催日時: 令和2年7月25日(土曜日) 17時00分～20時30分
 雨天時:(小雨決行、中止、延期: 月 日 曜日 時 分～)
 ○開催場所: 岡山市立宇野小学校グラウンド・体育館・多目的教室、宇野コミュニティハウス

○事業実施内容

※事業内容・方法・対象など、具体的な実施結果の内容について記入してください。

下記の通り実施予定をしていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化するなか、開催地でもある宇野小学校の利用制限等が重なり今年度の中止を決定した。

(1)三世代交流・障がい者交流

- ・障がい者を含む学区内の様々なグループによる演奏・演舞(参加者は、実施前に募集)
- ・宇野小学校児童吹奏楽部演奏 ・宇野認定こども園・浜保育園児歌・踊り
- ・遊び(幼稚園児によるスイカ割り等) ・岡山中央警察署防犯・交通安全寸劇
- ・夜店(民児協・愛育・子ども会・宇野小PTA・福祉3団体・各種団体) 合計14団体+α
- ・夏踊り

運営スタッフ人数	人	来場者数	人
出演者人数	人	天候	

④ 事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、実施結果の内容を反映して具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、併せて経費の節減や自主財源の確保などの取り組みや前年度からの見直しなどについて、実施結果の内容を反映して記入してください。

◎下記の通り実施予定をしていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化するなか、開催地でもある宇野小学校の利用制限等が重なり今年度の中止を決定した。

- ・高齢者・障がい者席を、30席設ける。・夜店に、福祉3団体を入れる。
- ・事業実施メンバーが一目で分かるように、ベストを着用する。(90着)
- ・体育館下のピロティを使い、全体配置を見直し、テント張り数の削減を図る。
- ・平成29年度より、来場者数を、平成30年度からは、退場者数も測定し、滞留者数を把握する。
- ・幼稚園歌・踊りの時に、宇野認定子ども園・浜保育園年長者の出演希望者も一緒に参加して貰う。
- ・宇野認定こども園・浜保育園・岡山県立岡山操山中学校にも事業実施メンバーに入って貰う。
- ・当日ステージ休憩時間に、地元小学生兄弟による漫才を取り入れる。
- ・ハワイアンバンドに伴奏をお願いし、夫婦演歌を取り入れる。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

①マンネリ化の防止

②より細かなニーズを掴む

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。)

審査会の意見として頂きました内容で、①マンネリ化の防止 ②より細かなニーズを掴む この2点を主に検討しました。実行委員会会議の中で事前アンケート調査等を行い、詳細な意見を取り上げその内容をまとめ実行できるような計画をしたが、新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化するなか、開催地でもある宇野小学校の利用制限等が重なり今年度の中止を決定したため、詳細な意見等を検討する機会がなかった。

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑤ 今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

※事業実施後の反省に基づき、改善の必要がある事項等について、具体的に記入してください。そして、次年度に向けての取り組みや対応策などについて記入してください。併せて本事業の将来像や課題等についても記入してください。

新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化するなか、開催地でもある宇野小学校の利用制限等が重なり今年度
の中止を決定したため特にはないが、①マンネリ化の防止 ②より細かなニーズを掴む この2点を主に再
検討していく。

⑥ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けて、具体的な内容について記入してください。

- Ⅰ チラシを作成配布、Ⅱ HPに掲載、Ⅲ 市の広報紙に掲載、Ⅳ TV、ラジオで公開、
Ⅴ その他（A3カラーラミネート加工ポスター掲示）

内 容

⑦ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙して)

年 月 日	内 容
令和2年4月30日	『三世代交流ふれ合いフェスタうの2020』 コミュニティ協議会役員会議にて実施検討
令和2年5月1日	『三世代交流ふれ合いフェスタうの2020』 宇野学区連合町内会総会にて実施検討
令和2年5月28日	『三世代交流ふれ合いフェスタうの2020』 コミュニティ協議会全体会議にて中止決定

⑧ 事業運営への参加状況（予定）

事業運営への参加団体等	事業運営のスタッフ人数
宇野学区連合町内会(各町内会含む)	
宇野学区コミュニティ協議会	
宇野地区社会福祉協議会	
宇野学区交通安全対策協議会	
宇野学区防犯安全パトロール隊	
宇野学区婦人会	
宇野学区交通安全母の会	
宇野学区愛育委員会	
宇野学区環境衛生協議会	
宇野地区民生委員児童委員協議会	
宇野学区子ども会育成連絡協議会	
宇野学区体育協会	
岡山市消防団宇野分団	
宇野学区老人クラブ連合会	
宇野小学校PTA	
岡山市立宇野小学校	
岡山市立宇野幼稚園	
岡山市立宇野保育園	
岡山市立浜保育園	
岡山県立岡山操山中学校	
岡山市立操山中学校	
宇野体協婦人バレー	
うのっこ食堂	
宇野FC	
たんぽぽの会	
知的障害者通所授産施設みどりワークセンター(あおば)	
就労継続支援 A 型事業所ひとひら	
学童保育うのクラブ	
計	他
計	34 団体 人

⑨ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
岡山市補助金	400,000	4,600	区づくり推進事業補助金
協賛金	350,000		
負担金	11,000		
広告料			
寄付金、他収入	235,080	4,660	
計	996,080	9,260	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	55,000	792	うさぎや 封筒代 (6/6)
②食糧費	50,000		
③印刷製本費	53,000	404	操山公民館 コピー代 (6/7)
④燃料費	30,000		
⑤光熱水費	0		
⑥通信運搬費	0	8,064	日本郵便(株) 切手代 (6/7)
⑦広告料	0		
⑧手数料	1,080		
⑨使用料	250,000		
⑩原材料費	0		
⑪委託料	340,000		
⑫工事請負費	120,000		
⑬報償費	62,000		
⑭保険料	35,000		
計	996,080	9,260	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和 3 年 1 月 15 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ 団体名 ふれあい夏まつり in 竜之口 実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ 代表者役職・氏名 実行委員長 守谷 俊昭

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	ふれあい夏まつり in 竜之口	
事業実施区域 (小学校区)	岡山市竜之口学区	
① 地域の特色	学区のシンボルは漢鏡出土、我が国2位の備前車塚古墳 があり、奈良時代にできた条里制の田は頭高山から眺めれば顕著に残っています。上道群の群社として古書に記載された大神神社があり、秋祭りには地域町内会の子ども達がだんじりを引き神社へ参拝、境内は老若男女で溢れ盛大に行われます。また、様々な団体が年間を通したコミュニティ活動が盛んな学区です。農家は雄町米・ぶどうのピオーネの生産が盛んです。主な交通機関はJR東岡山駅があります。	
② 事業の目的・ 成果	該当事業項目に○を(複数可)	ア 防犯 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> ウ 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 支え合い オ 健康 <input type="checkbox"/> カ 自然等 <input type="checkbox"/> キ 特産物等 ク 人・歴史・文化等 <input type="checkbox"/> ケ その他
竜之口学区は、新興住宅地として発展し、人口の増加が著しい地域です。一方では、高齢化が進んでいる町内もあり新旧の住民が混住し「人と人、人と地域、地域と地域」との絆が希薄になりつつあります。 そこで、学区はふれあい夏まつり in 竜之口実行委員会を結成し、地域が一体となれるよう学区民が協働して事業、目的に心をつ一つにして取り組み、地域への参加が躊躇なくできるようになることを目的とする。		

③ 事業の内容

以下の内容で実施の予定でしたが新型コロナ感染症拡大に伴い中止しました。

○開催日時:令和 2 年 8 月 22 日(土曜日) 16 時 30 分 ~ 21 時 00 分

雨天時:小雨決行、中止、延期: 月 日 曜日 時 分 ~)

○開催場所:岡山市立竜之口小学校 運動場周辺及び校舎
雨天時は体育館・校舎・広場等へ場所を変更し実施する。

○事業内容

※実施する事業の内容・方法・対象などについて、具体的に記入してください。

事業内容

1. ふれあい夏まつりを開催

1) 各種団体による出店 28 店(竜之口グルメの食べ歩き、楽しいゲーム)

2) 防災関係の展示・販売、福祉施設と協働による製品の販売

3) プログラム

(1) 吹奏楽演奏 (2) 和太鼓の競演 (3) 寸劇 (4) 演奏 (5) 大合唱

(6) こどもから大人までみんなによる総踊り (7) お楽しみ大抽選会

2. 小学校の清掃

(1) 開催日時:令和 2 年 8 月 23 日(日) 午前 8 時~午前 10 時

(2) 場 所:岡山市立竜之口小学校

内 容:運動場・校舎周辺の草取り、体育館の清掃 参加者 250 名予定

運営スタッフ人数	人	来場者数	人
出演者人数	人	天 候	

④ 事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、実施結果の内容を反映して具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、併せて経費の節減や自主財源の確保などの取り組みや前年度からの見直しなどについて、実施結果の内容を反映して記入してください。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

審査会の意見【R2 事前審査】

・ 役員の年代別のバランスがよいと思います。(若い人の参加がうまくいっていると感じます。

(対応) 幼・小・中 PTA のお父さん、お母さんが早くから企画・プログラム・運営等の話し合いの場を作りお互いに意見を出し合い、地域の役員等とより良い夏まつりになる様な雰囲気をつくり盛り上げています。

・ 子供中心の企画、中学校ボランティア、「1 コインで楽しめる」など子供を主体においたコンセプトが素晴らしいと思います。

(対応) 幼稚園にはキャラクター人形の制作、小中学校へポスターの原稿、小学校、介護施設に手作りうちわの制作を依頼、中学校へはボランティアの募集を行います。また、子ども達が小遣いでたくさん食・ゲームを楽しめる祭りを目指します。

・ 出店が 28 店と多い、各団体の協力を得られており、素晴らしいと思います。

(対応) 学区も毎年人口が増え、参加者も増え長い列が出来ている。出店者が作る、販売数を増やすには時間的に限度があり、出店数を増やしたいが会場の広さ安全面にも制約があり悩んでいる。

・ 食の探求を行っている団体の協力を得られており、素晴らしいと思います。

(対応) 出店者会議では作って販売するだけでなく参加者が美味しかったと言われるよう、竜之口グルメの一品となる努力と栄養改善協議会の食べ物作りのコツと助言を得ます。

・ 「事業実施メンバー」の申込団体での役職の欄に、各加入団体での役職が記入されているようです、記入内容の確認をお願いします。

(対応) 修正します。

審査会の意見【R1 事後評価】

・ 電気設営を工夫する、旭川荘から物品を借りるなど、節減の工夫と協力の面が非常に良いと思いました。

(対応) 会場に限りがあるため各テントの電灯線をハーネス化し誰でも設営できる様に工夫しています。また、数年前から交流がある旭川荘から焼き物器等を借用、障害者の作品の展示販売に協

力します。

- ・地域交流の中で子どもをしっかり主役に育てているこの事業が素晴らしいと思います。
(対応) 夏まつりはやっぱり子ども達が主役になります。幼稚園にはキャラクター人形、小中学校のポスターを祭り会場に掲示しています、保護者、おじいさん、おばあさんと連れ添って参加、残り少ない夏休みを楽しむ祭りにします。
- ・出店される物で食について学びが有り、地域の婦人の力が活発のことが伺えて、日頃の地域活動の素晴らしさが感じられました。
(対応) 日頃のコミュニティ活動を通して機会が有る事に婦人会、栄養改善協議会の協力が得られる。
- ・マリンバ演奏に保・幼・小・中・PTA役員も参加しており、若者の考えが取り入れられていると思います。
(対応) 地域の皆さんが出演できる企画をつくります。
- ・若いスタッフとの新企画を計画されることに期待しています。
(対応) 幼・小・中PTAのお父さん、お母さんが早くから企画・プログラム・運営等の話し合いの場を作りお互いに意見を出し合い、地域の役員等とより良い夏まつりになる様な雰囲気をつくり盛り上げています。

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等
(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。)

助言等の内容について、
事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑤ 今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

※事業実施後の反省に基づき、改善の必要がある事項等について、具体的に記入してください。そして、次年度に向けての取り組みや対応策などについて記入してください。併せて本事業の将来像や課題等についても記入してください。

⑥ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けて、具体的な内容について記入してください。

- I チラシを作成配布、 II HPに掲載、 III 市の広報紙に掲載、 IV TV、ラジオで公開、
V その他（ ）

内 容

⑦ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙して)

年 月 日	内 容
令和2年4月4日	<p>連合町内会第一回幹事会 議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和2年度岡山市区づくり推進事業助成申込み及び事業決定について <ol style="list-style-type: none"> (1)岡山市区づくり推進事業助成申込書説明 (2)ふれあい夏まつり in 竜之口開催に向けて (3)岡山市区づくり推進事業審査会意見書 2. 令和2年度ふれあい夏まつり in 竜之口開催に向けて <ol style="list-style-type: none"> (1)夏まつり開催日：令和元年8月22日(土) 16時30分～21時 予定 小学校清掃日：令和元年8月23日(日) 7時30分～10時 予定 (2)事業運営への参加団体及び事業実施メンバーの構成 (3)実行委員の役職【役割分担】 (4)予算書 (5)実行委員会スケジュール (6)保 険 (7)新型コロナウイルス感染症拡大に伴う夏まつり開催の可否について <ol style="list-style-type: none"> 1) 第1回実行委員会(5月9日)は延期する。 2) 諸般の状況を見て連合町内会幹事会で可否を決定する。
令和2年4月20日	第1回実行委員会の延期を各委員へ連絡する。
令和2年6月6日	<p>連合町内会第2回幹事会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 周辺の夏まつりが中止になっている事。 2. 岡山市の烏城まつりの動向次第で中止を決める。 3. 実行委員へ連合町内会幹事会の議事内容を連絡する。
令和2年6月20日	連合町内会執行部会で中止を決定する。
令和2年6月21日	関係者へ夏まつりの中止を連絡
令和2年7月5日	学区民へ夏まつりの中止を連絡
令和2年11月28日	<p>第5回連合町内会幹事会</p> <p>来年度の夏まつり開催について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 区づくり事業へ申請は行う。 2. 岡山市のイベント等のガイドであれば新型コロナウイルス感染症が収束しないと開催はできない。

⑧ 事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等	事業運営のスタッフ人数
1. 竜之口学区連合町内会	
2. 竜之口学区コミュニティ協議会	
3. 竜之口地区社会福祉協議会	
4. 竜之口学区防犯防火防災協議会	
5. 竜之口学区交通安全母の会	
6. 竜之口学区交通安全対策協議会	
7. 竜之口学区環境衛生協議会	
8. 竜之口学区老人クラブ連合会	
9. 竜之口学区愛育委員会	
10. 竜之口学区婦人会	
11. 竜之口学区体育協会	
12. 竜之口学区民生委員児童委員協議会	
13. 四御神郵便局	
14. 竜操中学校PTA	
15. 竜之口小学校PTA	
16. 竜之口幼稚園	
17. 竜之口小学校	
18. 岡山県立東岡山工業高等学校	
19. 竜之口クラブ	
20. 岡山市消防財田分団	
21. 竜操地域学校応援団	
22. 竜之口学区栄養改善委員協議会	
23. たまごクラブ	
24. 土田町内会	
25. 前土田町内会	
26. 東四御神町内会	
27. 四御神町内会	
28. 東ヶ丘第一町内会	
計	団体 人

⑧事業運営への参加状況(2/2)

事業運営への参加団体等	参加人数
29. 西四御神町内会	
30. 中四御神町内会	
31. 東ヶ丘第三町内会	
31. 南四御神町内会	
33. 芙蓉町内会	
34. 横縄手町内会	
35. 東雄町町内会	
36. 旭川荘	
37. 岡山学芸館高等学校	
38. 竜之口第一保育園	
39. 竜操中学校ボランティア	
40. 幡多障害者支援センター	
41. 岡山市社会福祉協議会	
42.	
43.	
44.	
45.	
46.	
47.	
48.	
49.	
50.	
51.	
52.	
53.	
54.	
55.	
計	団体 人

⑨事業実施メンバ 1/2

	申込団体 での役職	氏名	住所	年齢 歳代	備考 (加入団体等)
1	会長・広報	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	竜之口学区連合町内会 会長 竜之口学区電子町内会 会長 東四御神町内会 会長
2	副会長				竜之口学区連合町内会 副会長 四御神町内会 会長
3	副会長				竜之口学区連合町内会 副会長 西四御神町内会 会長
4	事務局長 副実行委員長				竜之口学区連合町内会 事務局長 前土田町内会 会長
5	実行委員長				学区防犯防火防災協議会 会長 南四御神町内会 会長
6	本部・総務				竜之口学区連合町内会 会計 東ヶ丘第三町内会 会長
7	本部・総務				学区環境衛生協議会 副会長 土田町内会 会長
8	近郊対策				竜之口学区体育協会 副会長 中四御神町内会 会長
9	環境衛生対策				学区環境衛生協議会 会長 東雄町町内会 会長
10	交通安全対策				学区交通安全対策協議会 会長 横縄手町内会 会長
11	監事 防災コーナー				竜之口学区連合町内会 監事 芙蓉町内会 会長
12	監事				竜之口学区連合町内会 監事 東ヶ丘第一町内会 会長
13	会計 副実行委員長				竜之口地区社会福祉協議会 会長
14	本部 報道関係				学区コミュニティ協議会 会長 地区民生委員児童委員協議会 会長 竜之口保育園 園長 竜之口クラブ運営委員会 会長
15	本部・総務				竜之口学区愛育委員会 会長
16	本部・総務 総踊り担当				竜之口学区婦人会 会長
17	出店者指導				学区栄養改善委員協議会 会長
18	交通安全対策				竜之口学区交通安全母の会 会長
19	小学校施設				竜之口小学校 校長
20	小学校施設				竜之口小学校 教頭
21	幼稚園施設				竜之口幼稚園 園長

22	企画 ボランティア	片山 正美	土田	40	竜操中学校PTA
23	企画	大西 大吾	土田	40	竜之口小学校PTA 会長

⑨事業実施メンバ 2/2

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 歳代	備考 (加入団体等)			
24	企画				竜操中学校PTA 竜之口代表			
25	企画				竜之口小学校PTA 副会長			
26	企画				竜之口幼稚園PTA 会長			
27	本部				四御神郵便局 局長			
28	本部・総務				竜之口地区社会福祉協議会 副会長			
29	本部・総務				竜之口地区社会福祉協議会 老人会			
30	企画				竜之口小学校PTA			
31	本部・総務				東四御神町内会 副会長			
32	本部・総務				東四御神町内会 副会長			
33	設営				竜之口学区体育協会 事務局			
34	設営				竜之口学区体育協会 理事			
35	本部・救護				土 田町内会(ボランティア)			
36	企画				竜之口小学校PTA 副会長			
37	設営・ 放送関係				竜之口学区区づくり推進委員 南四御神町内会(ボランティア)			
38	アナウンサー				南四御神町内会(ボランティア)			
39	企画				たまごクラブ 運営委員			
40	企画				土 田町内会(ボランティア)			

⑩ 収支決算書

◆収入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
岡山市補助金	400,000	6,000	
協賛金	300,000		協賛各社
負担金	214,000	6,000	連合町内会負担金
広告料	120,000		各町内会負担金
寄付金、他収入	30,000		祭り当日の寄付金
計	1,064,000	12,000	

◆支出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	180,000		
②食糧費	180,000		
③印刷製本費	200,000	12,000	会議資料コピー
④燃料費	8,000		
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	11,000		
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料	15,000		
⑩原材料費			
⑪委託料	75,000		
⑫工事請負費	350,000		
⑬報償費	30,000		
⑭保険料	15,000		
計	1,064,000	12,000	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和 2 年 12 月 10 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ ヒライマツリジッコウインカイ
 団体名 平井まつり実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ インチョウ ハナオカ エイタロウ
 代表者役職・氏名 委員長 花岡 栄太郎

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	平井まつり“2020”	
事業実施区域 (小学校区)	平井小学校区	
① 地域の特色	<p>※事業申込書に記入した内容について記入してください。</p> <p>※地域の自然・歴史・文化・現状などから、地域の特色、地域課題などについて具体的に記入してください。次の「②事業の目的」、事業の実施効果につながっていくものとなるよう留意してください。</p> <p>近年、住宅化が進み、地域活動に最も重要な、住民相互のコミュニケーションが薄れつつありますが、この事業を継続していることで、地域を知り、人と人の繋がりができつつある。</p>	
② 事業の目的・ 成果	該当事業項目に○を(複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 防犯 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 環境 エ 支え合い <input checked="" type="checkbox"/> 健康 <input checked="" type="checkbox"/> 自然等 キ 特産物等 ク 人・歴史・文化等 ケ その他
<p>※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、事業の実施によって、地域にどのような効果が生まれたか、或いは地域課題の解決につながったなどといった成果(効果)について記入してください。</p> <p>・上記内容で地域の絆づくりの開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止としました。</p>		

③ 事業の内容

○開催日時:令和 2年 10月 31日(日曜日) 9時40分 ~ 14時00分
 雨天時:小雨決行、中止、延期: 月 日 曜日 時 分 ~)

○開催場所:岡山市立平井小学校

○事業内容

※事業内容・方法・対象など、具体的な実施結果の内容について記入してください。

・校舎内 親子で楽しむ木工教室、平井小PTAの制服リサイクルバザー

・運動場 開会行事及び平井小学校スマイルバンド・東山中学校ブラスバンド演奏

岡山県警察楽隊演奏、山陽学園学生によるうらじゃ踊り

警察車両展示、消防車両展示、防火・防犯啓発活動

各種団体啓発活動、起震車による地震体験、交通安全啓発活動

移動環境学習車体験、各種団体模擬店、学区内企業模擬店、

国土交通省啓発活動(ハザードマップ等掲示)

東山中学校ボランティア部生徒によるバルーンアートの実演と配布

お楽しみイベントなど

*上記内容で開催準備をしていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の為、8月22日開催の実行委員会で開催の中止を決定

運営スタッフ人数	人	来場者数	人
出演者人数	人	天候	

④ 事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

- ・今年度は中止としましたが、来年度は参加者全員が安心して参加できる内容で開催の企画・運営を協議しをします。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

- ・目的に沿って忠実な運営がなされていると思います。
- ・参加者主体の手作りイベントが素晴らしいと思います。
- ・収支予算書の内容欄に記載をお願いします。
- ・地域の特色を取り入れた企画を考えてみてはどうでしょうか。

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等
(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。)

- ・貴重なご意見をいただき有難うございました。
- ・地域の方が地域の様子や地域活動に意識してもらえる企画を検討

助言等の内容について、
事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑤ 今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

※事業実施後の反省に基づき、改善の必要がある事項等について、具体的に記入してください。そして、次年度に向けての取り組みや対応策などについて記入してください。併せて本事業の将来像や課題等についても記入してください。

- ・今年度は新型コロナウイルス感染拡大の為、実施できませんでしたが、次年度はより多くの方に参加してもらい、地域の触れ合いができるように開催を予定

⑥ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けて、具体的な内容について記入してください。

- I チラシを作成配布、 II HPに掲載、 III 市の広報紙に掲載、 IV TV、ラジオで公開、
V その他（ ）

内 容

- ・開催中止を回覧とホームページでお知らせ。

⑦ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙して)

年 月 日	内 容
2020, 5, 22	第 1 回実行委員会(開催要綱の説明)
2020, 6, 20	第 2 回実行委員会(開催内容の検討)
2020, 7, 25	第 3 回実行委員会(開催内容と実施について検討)
2020, 8, 22	第 4 回実行委員会(開催中止の決定)

⑧ 事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等	事業運営のスタッフ人数
平井学区連合町内会	5
平井学区教育振興会	1
平井地区社会福祉協議会	1
交通安全協会平井支部	1
平井学区シルバークラブ連合会	1
平井学区体育協会	1
平井学区コミュニティ協議会	1
平井学区安全・安心ネットワーク	1
平井学区交通安全母の会	1
平井小学校学校支援ボランティア	1
平井地区民生委員・児童委員会	1
平井地区愛育委員会	1
平井小学校	2
平井小学校 PTA	1
平井幼稚園 PTA	1
平井保育園保護者会	1
山陽短期大学附属幼稚園PTA	1
東山中学校ボランティア委員会	1
平井土手町内会	1
平井地区少年警察協助員会	1
平井地区保護司会	1
計	22 団体 26 人

⑨ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	顧問				連合町内会会長
2	委員長				安全・安心ネットワーク会長
3	副委員長				教育振興会長
4	副委員長				連合町内会副会長
5	委員				湊町内会長
6	委員				コミュニティ協議会長
7	委員				シルバークラブ会長
8	委員				交通安全協会支部長
9	委員				市消防団副団長
10	委員				東山中PTA会長
11	委員				連合町内会副会長
12	委員				平井小学校教頭
13	委員				平井地区社協会長
14	事務局・会計				地区民児協会長
15	幹事				元、民児協会長
16	幹事				栄養改善委員会会長
17	幹事				平井幼稚園長
18	幹事				交通安全母の会長
19	幹事				元コミュニティ協議会長
20	幹事				連合町内会副会長
21	幹事				平井保育園長
22	監事				防犯協議会長
23	監事				平井小学校長
24					
25					

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	210,000	13,300	
協賛金	190,000	13,313	連合町内会他2団体
負担金	20,000	0	
広告料			
寄付、他収入			
計	420,000	26,613	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必 ず 記 載 し て く だ さ い)
①消耗品費	60,000	12,986	バルーン・テプラ用品、封筒代
②食糧費	60,000	0	
③印刷製本費	50,000	0	
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	6,000	8,627	切手、はがき代
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料	125,000	0	
⑩原材料費	25,000	0	
⑪委託料	15,000	0	
⑫工事請負費			
⑬報償費	30,000	5,000	バルーンアート指導、講師料
⑭保険料	49,000	0	
計	420,000	26,613	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和 3 年 1 月 5 日

岡山市長 大森雅夫 様

団体名 ^{ツギナ} 富山文化まつり実行委員会

所在地

連絡先

代表者役職・氏名 委員長 小西満智子

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称 ^{第18回} 富山文化まつり

事業実施区域 ^{新田} 富山小学校区
(小学校区)

※事業申込書に記入した内容について記入してください。

① 地域の特色

この地域は 企業・商業・農業 が入り混じり 特色と言えは
録豊かな 採山 として 曹源寺 である。

お年寄りの方も多い地区ではあるが ここに住む住民の 木下商店
精神、文化面、スポーツ面 にも 協力し合い 地区を 向上させ
行こうとする人が 多い

② 事業の目的・
成果

該当事業項目に○を(複数可)

- ア 防犯
- イ 防災
- ウ 環境
- エ 支え合い
- オ 健康
- カ 自然等
- キ 特産物等
- ク 人・歴史・文化等
- ケ その他

※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、事業の実施によって、地域にどのような効果が生まれたか、或いは地域課題の解決につながったなどといった成果(効果)について記入してください。

今回 コロナの関係で富山文化まつり開催する事が出来なかったけれど
11月7日の実行委員会で17年続けられたまつりの必要性から 今までのやり方の反省点
~~等~~ 話し合い又コロナの中令和3年の富山文化まつりのあり方 やり方 等 活発な意見
が出て 委員同志の結束の強さが見え みる ^味 ~~競争~~ マイナスばかりではなかったと思つた

③ 事業の内容

- 開催日時: 2年 10月31日(土曜日) 10時 分 ~ 4時 分
 2年 11月1日(日曜日) 10時 分 ~ 3時 分
- 開催場所: 岡崎市富山公民館及び富山小学校体育館と校庭

○事業実施内容

※事業内容・方法・対象など、具体的な実施結果の内容について記入してください。

上記に予定していたが、天候のため中止となる

運営スタッフ人数	人	来場者数	人
出演者人数	人	天候	

④ 事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、実施結果の内容を反映して具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、併せて経費の節減や自主財源の確保などの取り組みや前年度からの見直しなどについて、実施結果の内容を反映して記入してください。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。)

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかつた
- Ⅳ まったくできなかつた
- Ⅴ 改善意見がなかつた

⑤ 今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

※事業実施後の反省に基づき、改善の必要がある事項等について、具体的に記入してください。そして、次年度に向けての取り組みや対応策などについて記入してください。併せて本事業の将来像や課題等についても記入してください。

実際には富山文化まっりは中止にされたので反省点もなければ
令和3年の文化まっりは3密をさけ検温除菌に気を付け
なければならぬ。又縮小しながら入場方法 展示方法
等 いろいろ工夫をしながらやらないと思う

⑥ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けて、具体的な内容について記入してください。

- ① チラシを作成配布、 Ⅱ HPに掲載、 Ⅲ 市の広報紙に掲載、 Ⅳ TV、ラジオで公開、
Ⅴ その他（各団体に富山文化まっり中止の知らせに訪問）

内容
○ 富山文化まっりにいつも全面協力して下さっている
企業関係、学校関係に中止の知らせに回った
○ 全市民には全戸にちらしを配布した。

⑦ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙して)

年 月 日	内 容
令和2年5月7日	コロナの関係で富山文化まつりを開催するべきか否かを役員会で見当し合った結果、結論は
	6月か1ヶ月様子を見ようという事になった。
6月7日	役員会で富山文化まつり開催は今年ほ
	ろ密の事を考えると中止した方が良くという
	事になり全区民に伝える事になった
11月7日	令和3年の富山文化まつりについて開催するに
	当ってのいろいろな意見が出た結果 今以上の
	事情が出ない限り縮小という形を取って
	開催する方向と考える事に決まった

⑧ 事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等		事業運営のスタッフ人数
1	富山学区連合町内会	21町内
2	富山文化祭り実行委員会	26名
3	富山こども園	40名
4	富山幼稚園	120名
5	富山小学校	35名
6	富山中学校	80名
7	富山中学校 PTA	15名
8	富山学区民 (作品展示・舞台発表)	500名
9	富山電子町内会	10名
10	富山スポーツ少年団後援会	16名
11	交通安全 母の会	8名
12	富山学区コミニティー協議会	5名
13	富山ハートフル バンド	40名
14	晴吹 フラスバンド	45名
15	富山中学校 フラスバンド	40名
16	愛育委員会	20名
17	元気の会	10名
18	富山荘	20名
19	恵風荘	30名
20	OG 枝研	10名
21	福羽町内会	10名
22	富山学区婦人会	8名
23	栄養改善協議会	8名
24	びかよし クラブ	10名
25	サロニ・ド・ジュセ	10名
26		
計	25 団体	①の17 1,116 人

⑨ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	会長				連合町内会長
2	委員長				
3	副委員長				
4	副委員長				
5	副委員長				婦人会会長
6	副委員長				
7	部会長				
8	部会長				
9	部会長				
10	書記				
11	監査				
12	実行委員				
13	〃				
14	〃				
15	〃				
16	〃				
17	〃				
18	〃				
19	〃				
20	〃				愛育委員長
21	〃				
22	〃				
23	〃				
24	〃				
25	〃				富山中学校教頭
26	〃				富山小学校教頭

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
岡山市補助金	295,000	3,000	岡山市補助金
協賛金	131,000		
助成金	50,000		
寄付金、他収入	114,000	3,136	
計	590,000	6,136	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	160,000		
②食糧費	70,000		
③印刷製本費	100,000	1,492	印刷、コピー代
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	50,000	4,644	切手代
⑦広告料			
⑧手数料	18,000		
⑨使用料	18,000		
⑩原材料費	50,000		
⑪委託料	30,000		
⑫工事請負費			
⑬報償費	60,000		
⑭保険料	34,000		
計	590,000	6,136	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和 3年 1月 19日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ ワタノキマツリ 団体名 沢田柿まつり実行委員会

所在地

連絡先

代表者役職・氏名 ワタノキマツリ 実行委員長 ナガシオ 長汐 ヨシクマ 良熊

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	第32回 沢田柿まつり	
事業実施区域 (小学校区)	幡多小学校区	
① 地域の特色	地域キャラクター「ハタわん」を活用により地域の愛着を高め、地域住民の参加により交流を深めることを目的とする。まつりの企画、準備段階より地域の各町内会長、各団体代表者などのメンバーが実行委員として参加、地元保育園・小中学生の出演、出店などの参加により地域の幅広い年齢層からの意見を反映させるよう事業展開を通じて地域の一体感を構築する。	
② 事業の目的・ 成果	該当事業項目に○を(複数可)	<input type="checkbox"/> 防犯 <input type="checkbox"/> イ 防災 <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 支え合い <input type="checkbox"/> 健康 <input type="checkbox"/> 自然等 <input type="checkbox"/> 特産物等 <input type="checkbox"/> 人・歴史・文化等 <input type="checkbox"/> ケ その他
なし。		

③ 事業の内容

○開催日時: 令和2年11月15日(日曜日) 10時00分～15時00分

○開催場所: 岡山市中区沢田地先の百間川河川敷(沢田橋東の多目的広場)

○事業実施内容

新型コロナウイルスの感染の状況を鑑み、不特定多数の方が屋内外において長時間に渡り同じ場所に集まる状況は、避けなくてはならないことから開催中止となった。

運営スタッフ人数	66人	来場者数	0人
出演者人数	0人	天候	晴れ

④ 事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

地域キャラクター「ハタわん」をお披露目し認知してもらえた。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

地域キャラクター「ハタわん」のお披露目により参加者へ少しでも認知されたことで地域のまつりらしさを定着させていく。

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等
(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。)

・開催中止となったため。

助言等の内容について、
事業へ反映できましたか。

Ⅰ できた

Ⅱ おおむねできた

Ⅲ 一部できなかった

④ まったくできなかった

Ⅴ 改善意見がなかった

⑤ 今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

地域キャラクター「ハタわん」の活用により地域全体のまつりであるイメージに変えていく。
経費の節減について検討していく。コロナ対策についても検討していく。

⑥ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けて、具体的な内容について記入してください。

- I チラシを作成配布、II HPに掲載、III 市の広報紙に掲載、IV TV、ラジオで公開、
⑤ その他（開催中止文章の手渡し・郵送）

内 容

会議を開催し、まつり開催中止の決定となった。協賛先・地域住民等へ開催中止文章の手渡し・郵送等により周知した。

⑦ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙して)

年 月 日	内 容
令和2年 7月 7日	事務局会議 第1回実行委員会会議の事前打ち合わせ・開催可否の協議 ※開催中止が決定
令和2年 7月 14日	岡山市中区役所へ開催中止決定の報告
令和2年 7月 30日	後援団体等へ開催中止の挨拶回り 備前県民局、JA 全農岡山、JA 岡山、岡山市公園協会 岡山中央警察署、岡山市中区役所
令和3年 1月(予定)	反省会議 収支報告、意見交換、次回開催の協議など

沢田柿まつり 参加団体・人数

	出店および出演	団 体	参加人数
1	交通安全PR	交通安全母の会	25
2	もちつき	幡多学区体育協会	60
3	ゆうパック受付	岡山長岡郵便局	14
4	宅急便受付	ヤマト運輸	8
5	柿販売・柿の葉茶	沢田柿出荷組合・沢田加工部	40
6	ネギ焼き・おでん他	竜操地域学校応援団	34
7	おふくろ茶屋	幡多学区婦人会	30
8	テンペコロック他	JA女性部	12
9	牡蠣の味噌汁	兼基町内会	20
10	焼きそば・たこ焼き	竜操清水町内会	18
11	焼き鳥	沢田青年団	7
12	ラーメン・おにぎり	関北青年会	10
13	お好み焼き・漬物他	藤原町内会	5
14	新鮮野菜・フランクフルト	JA青壮年部	15
15	唐揚げ	幡多小イクメン倶楽部	10
16	百間川遺跡展示	岡山県古代吉備文化財センター	3
17	河川PR	国土交通省岡山河川事務所百間川出張所	4
18	里山センターPR	操山公園里山センター	2
19	健康テント	幡多学区愛育委員会	10
20	園児によるダンス	朝日保育園	20
21	空手演武	極真空手長浜道場	11
22	豊年踊り	富山豊年踊り伝承会	11
23	ダンス	ダンスチーム	2
24	キッズダンス	キッズダンスチーム	40
25	幡多クラブ	幡多小学校学童	16
26	民謡	民謡同好会	11
27	太鼓演奏	楽鼓組	9
28	中学校吹奏楽	竜操中学校	41
29	健全育成部	健全育成部	4
30	ふわふわドーム	イベントクラブ	3
31	駐車場	消防幡多分団	20
32	駐車場	沢田自警団	25
33	本 部	幡多学区各町内会長・JA他	49
計			589

⑨ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	別紙				
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					

沢田柿まつり実行委員会名簿（案）

No.	役職	氏名	郵便番号	住所	備 考
1	実行委員長				連合町内会会長 防犯協議会会長
2	副実行委員長				沢田生産組合
3	副実行委員長				沢田生産組合組合長
4	副実行委員長				青果物生産組合幡多支部支部長 沢田生産組合副組合長
5	副実行委員長				沢田生産組合副組合長
6	副実行委員長				社会福祉協議会会長
7	副実行委員長				婦人会会長 赤田町内会会長 連合町内会副会長
8	副実行委員長				体育協会会長
9	副実行委員長				沢田町内会会長
10	実行委員				清水町内会副会長 司会担当
11	実行委員				沢田生産組合
12	実行委員				沢田生産組合
13	実行委員				沢田生産組合
14	実行委員				沢田生産組合
15	実行委員				沢田生産組合
16	実行委員				沢田生産組合
17	実行委員				沢田自警団団長 沢田生産組合
18	実行委員				沢田生産組合
19	実行委員				沢田生産組合
20	実行委員				沢田青年団団長
21	実行委員				本部付
22	実行委員				市議会議員 交対協会会長 竜操地区学校応援団
23	実行委員				愛育委員会会長
24	実行委員				追分町内会会長 連合町内会副会長
25	実行委員				老人クラブ連合会会長
26	実行委員				交通安全母の会会長 交対協副会長
27	実行委員				いきいきサロンもくよう会代表
28	実行委員				藤原町内会会長
29	実行委員				藤原団地町内会会長

沢田柿まつり実行委員会名簿（案）

No.	役職	氏名	郵便番号	住所	備 考
30	実行委員				藤原団地北町内会会長
31	実行委員				清水町内会会長
32	実行委員				清水東町内会会長
33	実行委員				高屋町内会会長
34	実行委員				関町内会会長 連合町内会監事
35	実行委員				兼基町内会会長 連合町内会監事 旬部会部長 青果物生産組合幡多支部副支部長
36	実行委員				今谷町内会会長
37	実行委員				関サニー団地町内会会長
38	実行委員				藤原南町内会会長
39	実行委員				関東町内会会長
40	実行委員				関北町内会会長
41	実行委員				関竜操町内会会長
42	実行委員				兼基東町内会会長
43	実行委員				竜操パーク町内会会長
44	実行委員				サーパス藤原西町町内会会長
45	実行委員				ハイタウン百間川町内会会長
46	実行委員				竜操清水町内会会長
47	実行委員				ピュア藤原西町町内会会長
48	実行委員				サンパレス岡山自治会
49	実行委員				西地区いきいきサロン代表 (楽鼓組)
50	実行委員				婦人会
51	実行委員				小学校PTA会長
52	実行委員				岡山市立東公民館館長
53	実行委員				幡多クラブ
54	実行委員				総代代表
55	実行委員				岡山市消防団幡多分団分団長
56	実行委員				女性部岡山支部副支部長 (民謡同好会)
57	実行委員				レタス部会部長 青果物生産組合幡多支部副支部長
58	実行委員				国土交通省 岡山河川事務所 百間川 出張所所長

沢田柿まつり実行委員会名簿（案）

No.	役職	氏名	郵便番号	住所	備 考
59	実行委員				岡山県古代吉備文化財センター
60	実行委員				岡山市公園協会 操山公園里山センター・百間川緑地管理事務所所長
61	実行委員				藤原町内会 ふくじゅう
62	実行委員				関北町内会 岡山長岡郵便局
63	実行委員				竜操清水町内会
64	事務局				営農部副部長兼指導課課長
65	事務局				沖田営農センターセンター長
66	事務局				沖田営農センター
67	事務局				幡多支所支所長
68	事務局				幡多支所支所次長

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
岡山市補助金	400,000	11,200	
協賛金	1,220,000	0	地元企業等協賛金
負担金	400,000	0	
広告料			
寄付金、他収入	12,000	11,350	
	68,000	0	弁当・お茶
計	2,100,000	22,550	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	26,000	3,818	封筒・手提げ袋・事務用品
②食糧費	168,000	0	会議お茶、当日弁当・お茶
③印刷製本費	280,000	0	プログラム・ポスター
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	30,000	18,732	切手
⑦広告料			
⑧手数料	41,000	0	振込手数料・ごみ収集運搬
⑨使用料			
⑩原材料費			
⑪委託料	1,342,000	0	会場設営・遊戯施設 (別紙明細あり)
⑫工事請負費			
⑬会場・駐車場警備費	200,000	0	
⑭保険料	13,000	0	会場・駐車場・食品
計	2,100,000	22,550	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和 3 年 4 月 2 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ ヒライガックチイキツクリカイギ
 団体名 平井学区地域づくり会議
 所在地 [Redacted]
 連絡先 [Redacted]
 代表者役職・氏名 議長 那須 和夫

<p>実施分野</p>	<p>(該当の分野を□で囲んでください) <input type="checkbox"/> ア 地域課題解決 <input checked="" type="checkbox"/> イ 地域課題掘り起し <input type="checkbox"/> ウ 地域計画づくり <input type="checkbox"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="checkbox"/> オ その他</p>
<p>事業名</p>	<p>地域づくり会議の運営と事業展開</p>
<p>事業実施区域 (小学校区)</p>	<p>平井小学校区</p>
<p>① 事業実施内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、新型コロナの影響により一部活動を中止したものもありましたが、概ね出来る範囲で実施してきました。 ・高齢者対策事業「オレンジカフェひらい」は、9月以降 5回 開催出来ました。 ・地域の子供達の居場所づくりとして行っている「プレイパーク」は、11月に開催出来ました。 ・山陽学園大学・旭東病院と行ってきた「健康チェック」も年2回開催出来ました。 ・旭東病院の協力により「認知症サポーター養成講座」も年2回開催しました。 ・急な災害時に必要と思われる「緊急用ホイッスル」を、平井専用IDカードと共に制作し配布しました。 ・防犯対策の一環として「防犯カメラ作動中」の警告板を製作し、公園や通学道路等に掲示しました。 ・新型コロナ対策として消毒液「スーパー次亜水」を6月～12月まで、会議や事業開催時に活用しました。
<p>② 解決を目指した課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者対策事業「オレンジカフェひらい」を極力安全な形で、内容を吟味しつつ開催しました。 ・地域の子供たちの居場所づくりとして始めた「プレイパーク」は、11月に成徳学校の山の上で大勢の子供たちにより開催出来ました。 ・地域の方々が、元気に楽しく暮らせるよう「健康チェック」を年2回開催しました。 ・認知症の方に優しい地域を目指して「認知症サポーター養成講座」を年2回開催しました。 ・防犯対策として「防犯カメラ作動中」の警告板を20枚製作し、掲示しました。 ・消毒液「スーパー次亜水」を、事業開催時等に使用し新型コロナ対策としました。

<p>③ 目的・目標の達成状況</p>	<p>事業の目的</p> <p>地域づくり会議は、地域に密着した情報の共有や課題解決の場とし、課題解決に向けた話し合いや方向付け、支援体制等を総合的に調整し推進することにより地域で支え合い、安全で安心して笑顔で暮らせる平井学区を目指すことを目的としました。</p> <p>目標の達成状況</p> <p>認知症予防対策事業として立ち上げた「オレンジカフェひらい」は、毎月の開催を続けてきましたが、令和2年度は新型コロナの影響により4～7月は中止、9月以降5回開催しました。</p> <p>子供たちの居場所づくりの一環として開催している「プレイパーク」は、年2回開催してきましたが、今年度は11月に開催した1回のみでした。</p> <p>山陽学園大学・旭東病院共催で行っている「健康チェック」は、従来通り年2回開催出来ました。</p> <p>旭東病院の協力により、認知症の方に優しい地域を目指して「認知症サポーター養成講座」も従来通り年2回開催出来ました。</p> <p>防犯対策の一環として、「防犯カメラ作動中」の警告板20枚を製作し、公園や通学道路等に掲示しました。</p> <p>災害時に必要と思われる「緊急用ホイッスル」を製作し、認知症サポーター養成講座等に参加された方々に配布しました。</p> <p>新型コロナ対策として、消毒液「スーパー次亜水」を、6月～12月まで、会議や事業開催時に活用しました。</p> <p>年4回開催している「定例会」も安全対策を考慮しながら、全て開催出来ました</p>
<p>④ 企画等の工夫と情報公開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連合町内会役員のみならず、地域の各種団体から推薦された団体代表によって構成する会議体を組織し、会議運営を行っています。 ・ 立ち上げ時のメンバーは25名でしたが、その後メンバー等の都合もあり交代及び増員（学校園PTA役員等）により、現在31名で運営しています。 ・ 効率的な会議運営を行うため、専門部会（プロジェクトチーム）を立ち上げ運営しています ・ 平井学区連合町内会が発信している平井学区ホームページ「平井学区電子町内会」に地域づくり会議の活動内容や会議の様子を掲載し、学区内外への情報発信とPRを行っています。

<p>⑤ 次年度計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月一回開催している「オレンジカフェひらい」は、安全に配慮しつつ極力続けていきます。 ・子供たちの居場所づくりとして行っている「プレイパーク」も年2回開催予定です。 ・年2回開催の「健康チェック」も地域のもっと大勢の方々に受けていただけるよう改善していきます。 ・「認知症サポーター養成講座」も引き続き年2回開催を目指します。 ・昨年中止となった「旭川クリーン作戦」も復活させたいと考えています ・新しい試みとして、中学生や高校生を中心に自分たちが住む地域の事をもっとよく知り、主体性をもって地域活動に参加できるプロジェクトを立ち上げる計画も始動しています。
<p>⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善</p>	<p>「オレンジカフェひらい」は、新型コロナにより一部中止となりましたが、安全・安心に努めて出来るものは実施開催しました</p> <p>「プレイパーク」も年1回の開催のみとなりましたが、新型コロナが収まれば、年2回の開催に戻したいと考えています。</p> <p>「健康チェック」及び「認知症サポーター養成講座」については、安全・安心に配慮しつつ、計画通り開催出来たと考えています。</p> <p>期の途中からではありましたが、消毒液「スーパー次亜水」を会議や事業開催時に活用したことで、多少でも新型コロナへの対策になったのではと考えています。</p> <p>○事業決定時での審査会意見（区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の抽出、解決に向けて豊富な地域資料を活用して効率的な活動をされています。また、地域連携に大切な情報を共有し、地域からの要望を的確に捉えて活動されており素晴らしいと思います。 ・「オレンジカフェひらい」は今後もずっと継続してほしいと思います。利用者伝いに広がれば参加しやすいと思います。 ・マナー化を防ぐことも重要で、今年は特にこれに力を入れたなど、なにかその年ならではの注力点があるとさらによいと思います。 ・予算額と決算額が大きく違うので、理由の記述があるとよいと思います。 <p>○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み等 (右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由等について記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、新型コロナにより中止した事業もありましたが、安全・安心に配慮しつつ極力続けてまいりました。 ・新型コロナ対策として家庭内で余ったマスクを回収して、各施設に配布しました。 ・「防犯カメラ作動中」の警告板を、委託料として予算化していましたが出来ることは事業メンバーで行い、最終製作のみ業者に依頼したため原材料費の扱いになりました。 ・報償費につきましては、新型コロナにより、予定した事業が出来ない等、活動を中止せざるを得ない事もある状況でした。 <p>助言等の内容について、事業へ反映できましたか。</p> <p>Ⅰ できた <input checked="" type="radio"/> Ⅱ おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった</p>

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
山陽学園大学・山陽学園短期大学	定例会参加・アドバイザー
岡山市中区地域包括支援センター	同上
岡山市社会福祉協議会 中区事務所	同上
岡山市中区保健センター	同上
岡山市ふれあい介護予防センター	同上
岡山市 市民協働局 市民協働企画総務課 地域担当職員	会議開催企画・運営・実行支援
平井学区 安全・安心ネットワーク	定例会および専門部会参加等
平井地区民生委員・児童委員協議会	同上
平井地区社会福祉協議会	同上
平井学区愛育委員会	同上
平井学区防犯協議会	同上
平井学区交通安全対策協議会	同上
交通安全協会平井支部	同上
平井学区交通安全母の会	同上
平井学区コミュニティ協議会	同上
平井消防分団	同上
平井学区シルバークラブ連合会	同上
平井すずらん交流会	同上
平井学区電子町内会ホームページ委員会	同上 地域づくり協議会の活動取材等

⑧事業実施経過

4月18日	「オレンジカフェひらい」開催中止
4月19日	「プレイパーク」開催中止
5月16日	「オレンジカフェひらい」開催中止
6月 2日	第21回定例会開催
6月 6日	旭東病院による「認知症サポーター養成講座開催」開催
6月13日	「オレンジカフェひらい」開催中止
7月11日	「オレンジカフェひらい」開催中止
8月15日	「オレンジカフェひらい」開催中止
8月27日 28日	山陽学園大学・旭東病院共催 「健康チェック」開催
9月 1日	第22回定例会開催
9月13日	「旭川クリーン作戦」開催中止
9月19日	「オレンジカフェひらい」開催
10月10日	「オレンジカフェひらい」開催
11月13日	旭東病院による 「認知症サポーター養成講座」開催
11月16日	「オレンジカフェひらい」開催
11月21日	成徳学校裏山にて 「プレイパーク」開催
11月13日	旭東病院による「認知症サポーター養成講座」開催
12月 1日	第23回定例会開催
12月12日	「オレンジカフェひらい」開催
1月16日	「オレンジカフェひらい」開催中止
2月20日	「オレンジカフェひらい」開催
3月 2日	第24回定例会開催
3月 8日 9日	山陽学園大学・旭東病院共催 「健康チェック」開催
3月13日	「オレンジカフェひらい」開催中止
3月30日	会計報告・反省会

⑨事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考 (加入団体等)
1	議長				連合町内会長
2	副議長				安全・安心ネット ワーク会長
3	事務局長				防犯協議会会長
4	会計				湊町内会会長
5	会計監査				四軒屋町内会会長
6	会計監査				シルバークラブ連 合会会長
7	常任委員				連合町内会副会長
8	"				連合町内会副会長
9	"				連合町内会副会長
10	"				川東町内会長
11	"				元川東町内会長
12	"				北川町内会会長
13	"				元北川町内会会長
14	"				元北川町内会会長
15	"				社会福祉協議会会 長
16	"				愛育委員会会長
17	"				愛育委員会副会長
18	"				連合町内会
19	"				交通安全協会平井 支部長
20	"				交通安全母の会会 長
21	"				すみれ町内会会長
22	"				山陽学園大学地域連 携推進センター次長
23	"				新町町内会会長

24	"		平井消防分団長
25	"		平井上町町内会長
26	"		電子町内会委員会
27	常任委員		すずらん交流会
28	"		すずらん交流会
29	"		平井小学校PTA会長
30	"		平井幼稚園PTA会長
31	"		平井保育園保護者会会長

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
岡山市補助金	225,000	141,900	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	225,000	142,055	
参加者負担金			
協賛金			
寄付、他収入			
計	450,000	283,955	

◆ 支 出

単位:円

費 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	100,000	56,486	別添添付、内訳書をご参照
②食糧費	50,000	26,678	同上
③印刷製本費	50,000	50,315	同上
④燃料費	0	0	同上
⑤光熱水費	0	0	同上
⑥通信運搬費	30,000	17,276	同上
⑦広告料	0	0	同上
⑧手数料	0	0	同上
⑨使用料・賃借料	0	0	同上
⑩原材料費	0	123,200	同上
⑪委託料	120,000	0	同上
⑫工事請負費	0	0	同上
⑬報償費	60,000	10,000	同上
⑭保険料	20,000	0	同上
⑮旅費	0	0	同上
⑯その他	20,000	0	同上
計	450,000	283,955	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和3年4月15日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ トミヤマガックレンコウヂョウナイカイ
団体名 富山学区連合町内会

所在地

連絡先

フリガナ コバシイヂロウ
代表者役職・氏名 会長 小橋一郎

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ① 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	地域防災力の向上 ～災害犠牲者を出さない～
事業実施区域 (小学校区)	富山小学校区

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">①事業実施内容</p>	<p>※実施事業の概要（200字程度）をご記入ください。 ※事業実績を示す写真（事業内容ごとに2枚程度）、作成した報告書やチラシ等を添付してください。 アンケート等を行った場合は、集計結果を添付してください。また、新聞等で取り上げられた場合は、その写しを添付してください。</p> <p>(1) 上半期は活動中断、下半期は防災活動推進体制・活動計画の見直しに注力</p> <p>(2) 令和2年11月14日町内会長会議にて、見直した防災活動推進体制・活動計画、単位町内会への依頼事項を周知【添付資料①】</p> <p>(3) 自主防災会と単位町内会との間で、単位町内会ごとの防災推進会議を実施し、防災活動についての単位町内会との同意形成・すり合わせを図った➡21単位町内会中、12単位町内会で実施</p> <p>(4) 学区防災活動の推進主体であった有志による”犠牲者ゼロプロジェクト”と形式的な結成にとどまっていた”富山学区自主防災会”とを一本化し、防災活動の継続性を確保</p> <p>(5) 令和3年2月21日富山学区防災訓練にて、避難所運営を想定した受付訓練、食糧配給訓練、簡易ベット組み立て訓練を実施【添付資料②】</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">②解決を目指した課題</p>	<p>災害犠牲者を出さない防災活動の実践</p> <p>【自助・近助】 自分たちでできることについての啓蒙を愚直に繰り返し、平常時の備え・災害時の適切な行動を促す</p> <p>【共助】 自助を促すあるいはその調整のために果たすべき役割を明確にし、連合町内会・単位町内会レベルでの体制・仕組みを構築する</p> <p>【人材】 防災活動を主導するリーダーを育成し、組織化する</p>

ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況
 イ 地域課題掘り起し⇒掘り起こりにより明らかになった課題等
 ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等
 エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況
 オ その他⇒定めた目標の達成状況
 など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。

(1) 住民に対するマイ・タイムラインの周知

計画	・講習会（4月～6月）計4回を通じて、災害に対する早めの準備、避難の必要性を住民に周知
実績	・上半期の活動中断に伴い未実施
今後	・令和3年6月学区内に全戸配布する豪雨災害編防災パンフレット（A2両面）にて、学区の災害危険度、タイムライン、避難場所、災害への備えなどを周知

(2) 豪雨・台風時の住民に対する適切な情報伝達

計画	・災害時に住民が取るべき行動を促す緊急連絡網づくり ・7月～9月、実際の豪雨・台風発生時の実践、改善
実績	・上半期は活動中断 ・11月町内会長会議にて、【添付資料①】 ①学区から単位町内会へのLINE緊急連絡網登録を依頼 ➡21単位町内会中、14単位町内会登録済み ②単位町内会から住民への緊急連絡網づくりを依頼
今後	・未対応の単位町内会への督促（雨季までに） ・7月～9月、実際の豪雨・台風発生時の実践、改善

(3) 避難誘導・避難者受入れ体制の構築

計画	・単位町内会での避難誘導體制づくり ・学区での避難者受入れ体制づくり ・令和3年6月、総合的な避難訓練
実績	・上半期は活動中断 ・11月町内会長会議にて、単位町内会での要配慮者を中心とした声かけ・誘導體制づくりを依頼【添付資料①】 ・学区での避難者受入れ体制づくりについては、その検討手法を模索➡東京都で実践されている「避難所開設キット」の富山版を作成し、体制づくりすることを決定 ・令和3年2月21日富山学区防災訓練にて、【添付資料②】避難所運営を想定した受付訓練、食糧配給訓練、簡易ベット組み立て訓練を実施➡実際の運営時に考慮すべきことを実感できた
今後	・避難所開設キットを用いた避難者受入れ体制づくり ・令和4年2月、毎年恒例の防災訓練として避難者受入訓練 ・令和4年6月、総合的な避難訓練

③ 目的・目標の達成状況

(4) 避難行動要支援者の個別支援計画策定（単位町内会）

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者の把握 ・個別の支援内容の把握、個別支援計画の策定 ・支援体制づくり
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期は活動中断 ・11月町内会長会議にて、単位町内会での要配慮者を中心とした声かけ・誘導體制づくりを依頼【添付資料①】 ➡各町内会で要配慮者の把握はおおむねできているが、個別支援計画の策定は進展していない
今後	<ul style="list-style-type: none"> ・単位町内会との防災推進会議を通じて、参考事例を紹介し、個別支援計画の策定・支援体制づくりを促す ・令和4年6月、総合的な避難訓練

(5) 実効的な防災活動推進体制の構築

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・防災活動推進体制の構成員・役割分担見直し
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期は活動中断、防災活動推進体制・活動計画を見直し ・学区防災活動の推進主体であった有志による”犠牲者ゼロプロジェクト”と形式的な結成にとどまっていた”富山学区自主防災会”とを一本化し、防災活動の継続性を確保 ・11月町内会長会議にて、見直した防災活動推進体制・活動計画、単位町内会への依頼事項を周知【添付資料①】 ・自主防災会と単位町内会との間で、単位町内会ごとの防災推進会議を実施し、防災活動についての単位町内会との同意形成・すり合わせを図った➡21単位町内会中、12単位町内会で実施
今後	<ul style="list-style-type: none"> ・学区の防災活動を推進する新たな人材（若手・女性を含む）を発掘し、防災活動推進体制を強化する

<p>④ 企画等の工夫と情報公開</p>	<p>※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。</p> <p>【実施にあたって工夫したこと】</p> <p>●避難所運営体制づくりにあたって、「避難所開設キット」を活用することを決定した。</p> <p>避難所運営マニュアルを細分・簡素化し、その場ですばやく誰でも役割分担できるもので、円滑な避難所運営が期待できる。</p> <p>【住民への活動の周知広報の取組】</p> <p>●上半期は活動中断、下半期は防災活動推進体制・活動計画の見直しに注力したことにより、住民への活動の周知はしていない。</p> <p>●令和2年12月に実施した富山学区小地域ケア会議による、まちづくり計画策定のためのアンケート調査では、「犠牲者ゼロプロジェクト」の存在を7割が知らないとの結果であった。これは、「犠牲者ゼロプロジェクト」の周知広報をしてないため、当然の結果である。【添付資料③】</p> <p>●同アンケートでは、①当学区での災害危険度の認識が低い、②災害への備えが不十分、③浸水の恐れのある指定避難所への避難の不安などが読み取れる。</p> <p>●今後の周知広報の取り組み</p> <p>①令和3年5月学区内に全戸配布する富山学区まちづくり計画（2021年度～2023年度）にて、学区の防災の取り組みとして、個人・家庭、単位町内会、連合町内会それぞれの活動目標・行動目標を周知【添付資料④】</p> <p>②令和3年6月学区内に全戸配布する豪雨災害編防災パンフレット（A2両面）にて、学区の災害危険度、タイムライン、避難場所、災害への備えなどを周知</p>
<p>⑤ 次年度計画</p>	<p>※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。</p> <p>(1) 土砂災害講習会（令和3年6月） 学区内の土砂災害危険度、その備えを周知（岡山理科大学に講師依頼）</p> <p>(2) 学区の防災の取り組み周知（令和3年5月）【添付資料④】 全戸配布する富山学区まちづくり計画（2021年度～2023年度）にて、学区の防災の取り組みとして、個人・家庭、単位町内会、連合町内会それぞれの活動目標・行動目標を周知</p> <p>(3) 「避難所開設キット」を活用した避難所運営体制づくり 避難所運営マニュアルを細分・簡素化し、その場ですばやく誰でも役割分担できる避難所運営体制を目指す</p> <p>(4) 単位町内会での声かけ・誘導體制づくりの促進 単位町内会との防災推進会議を通じて、単位町内会での声かけ・誘導體制、要配慮者支援体制づくりを促進する</p> <p>(5) 災害対策本部・避難所運営に必要な資機材・備品の整備</p> <p>(6) 学区防災訓練（令和4年2月） 避難所開設・避難者受入れ訓練</p>

⑥事業実施者の評価・感想

審査会での助言及び意見を踏まえた改善

※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。

●上半期は活動中断、下半期は防災活動推進体制・活動計画の見直しに注力したことにより、避難誘導・避難者受入れ体制づくりについて、検討手法の模索にとどまっております、「(逃げ遅れによる)災害犠牲者を出さない」という地域づくりにはほど遠い現状である。

●しかしながら、今後の活動の筋道は見えて来ており、その確実な推進のために、事業を推進する人材の拡充が当面の課題である。学区の防災活動を推進する新たな人材(若手・女性を含む)を発掘し、防災活動推進体制を強化する。

○事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

【組織の状況】

・区づくり推進事業として実施する活動の実施主体を明確にしてください。連合町内会として実施するのであれば、通常の連合町内会活動と区づくり推進事業との区別を明確にしてください。

【区民等への周知】

・事業を進めていくにあたっては、地域住民等へ事業の意義が広く理解され、事業を支える地域住民が増えていくことが必要です。このため、事業を進めていくうえでの合意形成の図り方や取組み方、周知方法などについて、専門家の意見も含める等、地域で話し合っていてください。

○上記の助言及び意見を受けての事業への取組み等(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取組み内容、右記の結果となった理由等について記入してください。)

●学区防災活動の推進主体であった有志による”犠牲者ゼロプロジェクト”と形式的な結成にとどまっていた”富山学区自主防災会”とを一本化し、防災活動の継続性を確保するとともに、令和3年度の区づくり推進事業は、“富山学区自主防災会”を申請団体とした

●自主防災会と単位町内会との間で、単位町内会ごとの防災推進会議を実施し、防災活動についての単位町内会との同意形成・すり合わせを図った

●上半期は活動中断、下半期は防災活動推進体制・活動計画の見直しに注力したことにより、住民への活動の周知はしていない

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
富山学区愛育委員会	防災訓練での受付訓練、食糧配給訓練
富山学区連合電子町内会	学区内への広報（防災訓練）
岡山市危機管理室	防災訓練（訓練内容協議、簡易ベッド組み立て訓練指導、避難所運営講話、食糧配給時の感染症対策講話）
岡山市消防団富山分団	防災訓練での土のうづくり訓練・発電機操作訓練指導

⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
令和2年7月	犠牲者ゼロプロジェクト運営会議(7/11、7/22、7/30)
令和2年8月	犠牲者ゼロプロジェクト運営会議(8/10、8/26)
令和2年9月	自主防災会運営会議(9/2、9/7)
令和2年10月	自主防災会運営会議(10/16、10/21)、役員会(10/30) 自主防災会
令和2年11月	自主防災会運営会議(11/3、11/13)、役員会(11/22) 富山学区町内会長会議(11/14)
令和2年12月	自主防災会運営会議(12/11、12/17、12/25)、役員会(12/12)
令和3年1月	自主防災会運営会議(1/8、1/21)、役員会(1/13)
令和3年2月	自主防災会運営会議(2/5)、役員会(2/10) 富山学区防災訓練(2/21)
令和3年3月	自主防災会運営会議(3/17、3/22)、役員会(3/27)
【防災推進会議】	21 単位町内会中、12 単位町内会実施 山崎本町町内会(9/28) 円山境内町内会(12/19) 円山中央町内会(12/27) 海吉本村町内会(1/10) 海吉出村町内会(1/18) 円山宮西町内会(1/24) 円山浜倉町内会(1/30) 円山団地町内会(2/13) 海吉中村町内会(1/27) 海吉福吉町内会(1/31) 円山嶽町内会(2/14) 操陽南山町内会(3/24)

⑨事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考 (加入団体等)
1	会長				連合町内会 会長
2	副会長				連合町内会 副会長
3	副会長				連合町内会 副会長
4	総務				連合町内会 総務
5	総務				老人クラブ連合会 会長
6	総務				海吉出村町内会 会長
7	総務				コミュニティ協議会
8	運営委員				社会福祉協議会 事務局 局長
9	運営委員				連合町内会 総務
10	運営委員				連合町内会 副会長・総 務
11	運営委員				連合町内会 副会長
12	運営委員				海吉本村町内会 副会 長
13	監事				連合町内会 副会長
14	会計				愛育委員会 会長
15					
16					
17					
18					
19					
20					

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
岡山市補助金	67,800	51,800	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	67,900	51,943	
参加者負担金			
協賛金			
寄付、他収入			
計	135,700	103,743	

◆ 支 出

単位:円

費 目	予 算 額	決 算 額	内 容(必ず記載してください)
①消耗品費	30,000	73,452	うち、インク代28,150円、感染症対策37,838円
②食糧費	32,000		会議時の飲料購入せず
③印刷製本費	73,700	26,399	インク代28,150円①消耗品費に計上
④燃料費			
⑤光熱水費		2,400	会議会場エアコン代
⑥通信運搬費		1,492	資料郵送・配達費用
⑦広告料			
⑧手数料	費目別の内容は、別紙「費目別経費明細」参照		
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料			
⑮旅費			
⑯その他			
計	135,700	103,743	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。

令和2年度 費目別経費明細

富山学区連合町内会

【①消耗品費】

No.	日付	使用者	支払先	用途	科目	金額
15	11/9		ダイキ	コピー用紙	消耗品費	720
21	2/11		ダイキ	封筒・ラベルシール	消耗品費	1,047
26	10/30		うさぎや	印刷用紙	消耗品費	2,002
34	3/21		うさぎや	バインダー	消耗品費	319
35	3/20		うさぎや	バインダー	消耗品費	2,156
37	3/22		エディオン	プリンターインク・印刷用紙	消耗品費	10,740
38	3/22		エディオン	プリンターインク	消耗品費	10,400
44	7/23		ダイキ	バインダー	消耗品費	880
51	2/1		エディオン	プリンターインク	消耗品費	1,060
52	1/27		マツモトキヨシ	ハンドジェル	消耗品費	3,234
53	1/31		エディオン	プリンターインク	消耗品費	6,290
33	1/19		アマゾン	非接触体温計・乾電池	消耗品費	34,604
					小計	73,452

【③印刷製本費】

No.	日付	使用者	支払先	用途	科目	金額
1	8/8		富山公民館	資料印刷	印刷製本費	670
2	8/8		富山公民館	資料印刷	印刷製本費	150
3	4/16		富山公民館	資料印刷	印刷製本費	50
4	4/16		富山公民館	資料印刷	印刷製本費	40
5	7/30		ファミリーマート	資料印刷	印刷製本費	480
6	8/10		セブンイレブン	資料印刷	印刷製本費	450
7	8/26		ローソン	資料印刷	印刷製本費	1,050
8	9/12		ローソン	資料印刷	印刷製本費	300
9	10/16		ローソン	資料印刷	印刷製本費	890
10	10/21		ローソン	資料印刷	印刷製本費	560
11	10/30		ローソン	資料印刷	印刷製本費	3,000
12	11/22		セブンイレブン	資料印刷	印刷製本費	400
13	11/3		セブンイレブン	資料印刷	印刷製本費	1,080
14	11/9		富山公民館	資料印刷	印刷製本費	1,280
16	11/9		寿美術印刷株式会社	避難所開設キット印刷	印刷製本費	3,674
17	12/26		ローソン	資料印刷	印刷製本費	500
18	1/12		ローソン	資料印刷	印刷製本費	1,350
19	2/9		富山公民館	資料印刷	印刷製本費	2,800
20	2/9		ローソン	資料印刷	印刷製本費	210
22	2/12		富山公民館	資料印刷	印刷製本費	320
24	2/12		富山公民館	資料印刷	印刷製本費	600
25	2/28		ローソン	資料印刷	印刷製本費	390
27	10/30		岡山県ボランティア・NPO活動支援センター	資料印刷	印刷製本費	305
28	1/18		ローソン	資料印刷	印刷製本費	420
29	1/18		ローソン	資料印刷	印刷製本費	560
30	1/19		ローソン	資料印刷	印刷製本費	1,020
31	1/21		富山公民館	資料印刷	印刷製本費	300
39	3/15		セブンイレブン	資料印刷	印刷製本費	320
40	3/17		セブンイレブン	資料印刷	印刷製本費	320
41	3/22		富山公民館	資料印刷	印刷製本費	160

42	3/23		ファミリーマート	資料印刷	印刷製本費	300
43	3/26		富山公民館	資料印刷	印刷製本費	1,320
48	12/17		ローソン	資料印刷	印刷製本費	480
49	1/24		セブンイレブン	資料印刷	印刷製本費	250
50	1/30		ファミリーマート	資料印刷	印刷製本費	400
小計						26,399

【⑤光熱水費】

No.	日付	使用者	支払先	使途	科目	金額
45	8/10		富山学区コミュニティ協議会	コミュニティハウスエアコン代	光熱水費	800
46	8/26		富山学区コミュニティ協議会	コミュニティハウスエアコン代	光熱水費	1,000
47	1/13		富山学区コミュニティ協議会	コミュニティハウスエアコン代	光熱水費	600
小計						2,400

【⑥通信運搬費】

No.	日付	使用者	支払先	使途	科目	金額
23	2/21		郵便局	資料送付切手代	通信運搬費	1,092
32	1/21		とみやま助け合い隊	資料配達費用	通信運搬費	400
小計						1,492

合計	103,743
----	---------



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和 3年 4月 19日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 とみやま^{たすけ}助け^{あいたい}合い隊

所在地

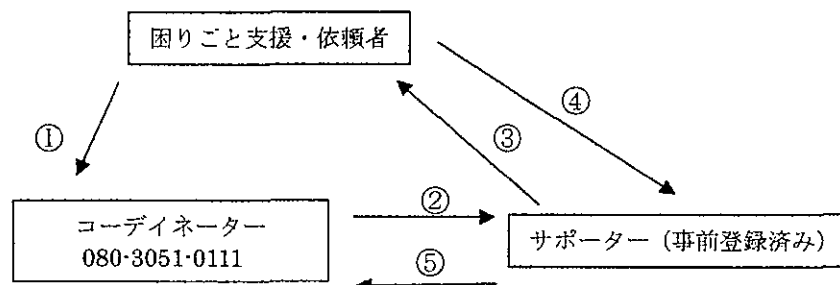
連絡先

フリガナ 代表者役職・氏名 ^{りじちよう}理事長 ^{こばし}小橋 ^{いちろう}一郎

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 <input type="radio"/> イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="radio"/> オ その他
事業名	とみやま助け合い隊
事業実施区域 (小学校区)	富山学区

地域住民の日常生活上の困りごと解決のための支援システムを提供する。

1. 本システムの概要



① 事業実施内容

(説明)

- ① 困りごと支援依頼者 → コーディネーターにTEL
 - ② コーディネーター (5名。週単位で交代) → サポーターを斡旋
 - ③ サポーター (3月末、49名が登録済み) → 支援を実施
 - ④ 依頼者 → サポート料を支払う
 - ⑤ サポーター → 支援の終了時に支援内容・時間・料金等を報告
- ★ 特殊な技術を要するもの、危険を伴う作業は対象外
 - ★ 有料・基本料金30分まで300円、以後10分増すごとに100円追加 (一人につき)
 - ★ 屋内作業・原則2人体制で行う。

(添付資料)

- ・サポート写真 2枚、サポーター会議風景
- ・ポスター
- ・とみやま助け合い隊活動ニュース 第2号

<p>② 解決を目指した課題</p>	<p>課題・・・住民が抱える日常生活上の困りごとの解決 住民は世代を問わず、日常生活上の各種困りごとを抱えている。 これらの困りごとを解決できなければ、住み慣れたこの町で住み続けられない。 ★ 例 ・高齢のため、草取りや庭木の剪定ができない。病院への通院、買い物が自力でできなくなった。 ・急な仕事の都合で、老親を病院に連れていけなくなった。等々</p>
<p>③ 目的・目標の達成状況</p>	<p>① 地域課題の解決 ⇒ 1年間の支援実績（3月末）251件 内訳 ・付添(病院・買い物)77 ・ゴミ出し64 ・買い物代行51 ・庭の手入れ39 ・掃除・片付け4 ・修理3 ・その他13</p> <p>② 令和2年度の目標と達成状況 ・支援実績 目標200件 → 251件(+51) ・サポーター登録 目標70人 → 49人(-21) ・財政基盤強化（特別会員確保）5会員 → 0(-5)</p> <p>③ 実施効果 ・利用件数も増えて、順調に定着しつつある。 ・依頼者から「助けてもらって、感謝！感謝！」、サポーターから「あんなに喜んでもらえるとは・・・」などの電話や手紙をもらうことがある。</p>
<p>④ 企画等の工夫と情報公開</p>	<p>※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。</p> <p>① 企画運営上の工夫 ・支援依頼について、全件記録している（依頼者名、サポーター名、依頼内容、サポーター料等）。システムのレベルアップには、データを基にした不断の検証が欠かせない。 ・毎月（原則）、コーディネーター会議を開催、上記記録をもとに本システムの利用状況や課題について、コーディネーター間で共通認識を持つと同時に、改善策を協議している。 ・隔月に理事会（小地域ケア会議と兼ねて）を開催、助け合い隊の現状やコーディネーター会議の内容等を報告するとともに、必要に応じて今後の運営について協議している。 ・年1回、サポーター会議を開催。本システムの理念や現状、今後の計画などにつき共通理解を図るとともにサポーターの立場から見た課題の発掘に努めている。 また、サポーター宛に年賀状・暑中見舞いを出状する等、事務局とのコミュニケーションに留意している。サポーターのモラルの維持には、平素のコミュニケーションが大切と考えている。</p> <p>② 広報 ・住民への広報を重視している。 ・広報紙「とみやま助け合い隊活動ニュース」を発行。全戸・配布。 （年・2回発行、全戸 配布、A3、片面印刷、二つ折り、カラー） 編集方針・・・「読む」より「見る」を重視 運営の透明性を確保・・・決算報告等掲載 ・機会あるごとに、学区主要団体へのPRにも努めている。（例：説明機会をもらう等） ・おかやまSDGsアワード2020を受賞したにつき、記念ボールペンを作成、サポーターや支援依頼者及び関係先に配布した。</p> <p>③ 他地区への情報提供 ・当システムについて他地区より「くわしい説明を聞きたい」「情報交換したい」等の要望があり、システムの概要や設立の経緯、運営上のノウハウや使用ツール等につき積極的に情報を提供した。 例：岡輝地区、足守地区、牧石地区、平島地区、旭竜地区、十字屋グループ（真庭市）、宮部上地区(津山市)</p>

<p>⑤ 次年度計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用件数増加 ⇒ 目標 300件 (令和 3年度) ★多様性の視点を検討する。従来の支援は、高齢者がほとんどである。若年者・障害者対象の支援メニューを開発する。 ・サポーター増員 ⇒ 目標 70名 (1月末 47名) 併せて、サポーターゼロ地区(7町内)の解消を目指す。 ★多様性の視点を検討する。 例：家族+軽度の認知症患者(ペアーを条件に登録) こども+保護者(ペアーを条件に登録。春・夏・冬休み限定) ・財政基盤強化 特別会員(年会費 1万)確保 ⇒ 目標 5会員
<p>⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善</p>	<p>※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。</p> <p>1・本システムは、順調に定着しつつあると考えている。 高齢化が進む中、体力や運動能力の低下は、庭の整理や片付け等自宅の管理にも支障をきたす。また、各種のインフラは、車社会を前提に構築されており、免許返納後の日常生活は不便極まりない。 住民は、種々のこまり事に直面する。かかる状況でこそ、本来は「共助」の出番であるが、今や身近に(濃密な人間関係の中に)「共助」を求めることが難しくなっている。 ★「核家族化」や「急速な団地開発」、「夫婦共働き」や「ネット社会」等の社会状況の変化は、地域の絆や連帯感を希薄化させてきた。かつてあった「向こう三軒・両隣」的人間関係は、もはや期待すべくもない。 当システムは、いわば「共助」のシステム化(濃密な人間関係を前提としなくてもよい)を図ったものである。気軽に電話をすれば、最寄りのサポーターが駆けつけてきて、困りごとを解決してくれる。料金(格安)さえ支払えば、それ以上にお礼をどうするか等について思い悩むこともない。 この点が、評価されたものと思う。</p> <p>2・自助・共助の意識を高揚し、住民自らがまちづくりに参加する。 自助を基本としつつも限界を超えた部分(困りごと)については、地域住民が支援する。(住民は、サポーターとして「共助」システムに参加する) この積み重ねが、よいまちを作る。サポーターのみならず、支援依頼者もまちづくりへの参加者である。</p> <p>3・やさしさと素直さの表現機会を提供する。 本来、人は「やさしさ」と「素直さ」を併せ持つ。他人の困りごとをサポートすることは「やさしさ」の表現であり、サポートに対し「感謝」するのは「素直さ」の表現である。住民の「やさしさ」と「素直さ」が随所に見られる、そのようなまち「富山」を目指したい。</p>

○事業決定時での審査会意見（区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容）

【R2年事前審査・審査会意見】

- ・まだ始まったばかりですが、前進しているようです。これからを期待しています。
- ・地域のニーズに合った事業であり、サポーターの資質や法規制等をクリアしてスタートされていることに敬意を表したいと思います。
- ・需要を感じることができたので今後も必要とされるよう工夫してほしいと思います。

【R1事後評価・審査会意見】

- ・地域のニーズに対応した先行的かつおもしろい取組であり、これから必要となる素晴らしい活動です。様々な課題が今後とも出てくると思われるが、PDCAを積み重ねることで、地域を支える組織として成長してほしいです。
- ・病院への付添や買物代行など、家族が手伝いたくてもできないことをサポートしてくれる人がいるとありがたいと思います。
- ・介護保険との関係が気になります。

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み等

【R2年事前審査・審査会意見】

- ・順調に定着しつつあると考えております。3月末実績 251件
庭の手入れ、PC、付添、買い物代行、ゴミ出し、洋服リフォーム、掃除・片付け、修理等ですが、支援できる分野は、たくさんあるはず。今後は「このような支援もできる」というメニューを開発、逆提示していきたいと考えております。

【R1事後評価・審査会意見】

- ・人が、本来持っている「やさしさ」(サポート)と「素直さ」(感謝)の表現機会を提供するものでもあります。これらが随所に見られる！そのようなまちづくりを目指しております。
- ・運営上の課題は、毎月のコーディネーター会議で議論。必要に応じて、運営細則を改定し、サポーターにもその旨を連絡しております。なお、サポーター会議も開催、当システムの理念や運営について共通理解を図っています。
- ・本システムの役割は、本来、介護保険の適用の及ばない分野をサポートとすることにあります。現実には、ケアマネジャーからの紹介案件(ケアマネジャーとのタイアップも進めておりますので)では、「ここまでは、介護保険でできるが、それ以上はできないので、助け合い隊にサポートしてもらえないか」などのコメントもいただいております。今後とも介護保険とのすみわけを明確にしつつ、サポートを実施してまいります。

助言等の内容について、
事業へ反映できましたか。

- I できた
- II おおむねできた
- III 一部できなかった
- IV まったくできなかった
- V 改善意見がなかった

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
富山学区連合町内会	運営(理事長) 広報(助け合い隊ニュース配布に協力) 町内会長会議での説明機会提供
富山学区電子町内会	広報(ニュースの掲載)
富山学区自治振興会	運営(補助金交付)
富山地区社会福祉協議会	運営(理事、事務局) 広報
富山学区愛育委員会	運営(コーディネーター、会計)、 広報(ポスター作成) とみやま助け合い隊活動ニュース編集
富山学区婦人会	運営(理事、コーディネーター)、 広報
富山学区老人クラブ連合会	運営(理事)、 広報
身体障害者福祉連合会 富山地区会	運営(理事)
富山学区栄養改善協議会	運営(理事、コーディネーター)、広報 サポーター紹介
富山地区民生委員児童委員協議会	運営(理事、コーディネーター) サポーター紹介、 広報(各担当の高齢者等にチラシ配布)
とみやま文化まつり実行委員会	広報(令和2年度 開催中止)
特別養護老人ホーム 恵風荘	ケアマネージャーが担当先に支援を勧奨、 案件紹介
オレンジカフェ 青春	広報(定例会で説明機会を提供)
岡山市立富山公民館	運営(サポーター用グッズ預かり)
岡山市社会福祉協議会	企画、広報(助け合い隊の活動を紹介)
岡山市中区保健センター	企画
岡山市介護予防センター	企画
岡山市中区包括支援センター	企画、広報担当先に支援を勧奨、 運営(ケアマネージャーとの仲介)
てらだ内科クリニック	広報(広告掲載)
(有)相生堂	広報(広告掲載)
岡山(円山)自動車学校	広報(広告掲載)
金光薬品(株)	広報(広告掲載)

⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
令和2年	
・ 4月 2日 19日	役員会中止(コロナ対策) 会計監査
・ 6月 4日 4日 10日 18日	年次総会兼役員会 コーディネーター会議 OHK TV 取材 ■■■さん宅(依頼者) 山陽新聞取材 ■■■さん宅(依頼者)・■■■さん(サポーター)
・ 7月12日	コーディネーター会議
・ 8月 2日 6日	旭竜助け合い隊準備会にて説明 役員会議・コーディネーター会議
・ 9月29日	岡山市 取材。 ■■■さん(依頼者)・■■■さん(サポーター)
・ 10月 1日 15日 24日 26日 29日	役員会議・コーディネーター会議 「とみやま助け合い隊活動ニュース第2号」発行、全戸に配布 サポーター会議(1回目) 参加20名 ★同一内容で2回実施。サポーターは、いずれか一方に参加すればよい 平島健康福祉協議会来訪、懇談
・ 11月24日	サポーター会議(2回目) 参加19名 RSK 取材 ■■■さん(依頼者)・■■■さん(サポーター)
・ 12月 3日 4日 19日	役員会・コーディネーター会議 岡輝公民館にて説明会 おかやまSDGsアワード 受賞 表彰式に参加
令和3年	
・ 2月 2日 4日 5日 16日	山陽新聞取材 ■■■さん(依頼者)・■■■さん(サポーター) 役員会・コーディネーター会議 牧石地域づくりの会にて説明会(於：牟佐公民館) 十字屋グループ来訪・交流会、コーディネーター会議
・ 3月 8日 28日 31日	役員会・コーディネーター会議 津山市 宮部上町内会8名来訪 助け合い隊について説明、懇談 ■■■さん(コーディネーター兼サポーター) 退任 (県外に転居のため)

⑨事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考 (加入団体等)
1	理事長				地域協働協議会 会長 地区社協会長 連合町内会会長
2	副理事長				連合町内副会長 地区社協副会長
3	理事				操陽南山町内会 会長、
4	理事				円山嶽町内会長
5	理事 事務局長				富山地区社協副 会長
6	理事、会計 コーディネ ーター				富山学区愛育委 員会会長
7	理事				富山地区民生委 員児童委員協議 会会長
8	理事 コーディネ ーター				富山地区民生委 員児童委員協議 会副会長
9	理事				富山地区民生委 員児童委員協議 会・地域福祉研 修部長
10	理事 コーディネ ーター理事				富山学区栄養改 善協議会
11	理事				富山学区栄養改 善協議会会長
12	理事 コーディネ ーター				富山学区婦人会 会長
13	コーディネ ーター				
13	理事				福泊川東町内会 副会長
14	理事				身体障害者福祉 連合会 富山地区会長
15	理事				富山学区老人ク ラブ連合 会会長
17	監事				連合町内会監事
18	監事				連合町内会監事

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
岡山市補助金	79,000	79,000	189,669 × 50% ≒ 94,800 → 79,000
実施団体負担金	29,000	26,669	
参加者負担金			
協賛金(広告料)		20,000	
寄付、他収入	50,000	14,000	寄付
自治振興会補助金		50,000	
計	158,000	189,669	

◆ 支 出

単位:円

費 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	21,000	70,635	<注>
②食糧費	8,000	500	各費目の支出明細については、
③印刷製本費	72,000	28,290	添付の「費目別支出金額」及び
④燃料費			「領収書」を参照願います。
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	52,000	58,904	
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料		15,000	
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料	5,000	12,140	
⑮旅費		4,200	
⑯その他			
計	158,000	189,669	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。

費目別支出金額

費目	合計金額	領収書明細	金額
①消耗品費	70,635		
Aワフ			1,380
用紙(クリーム)			858
同上			858
グッズ収納ケース			7,920
Aワフ			460
SDGs記念品ボールペン			31,350
用紙			110
インク			4,800
Aワフ			920
収容棚			3,828
朱肉他			1,881
インク			7,770
代表者印作成			8,500
②食糧費	500		
相生堂手土産(取材協力者)			500
③印刷製本費	28,290		
copy代			150
同上			80
同上			80
同上			240
印刷代			110
同上			350
copy代			210
ニュース印刷代			24,555
copy代			240
同上			320
印刷代			1,000
同上			425
同上			530
④燃料費	0		
⑤光熱水費	0		
⑥通信運搬費	58,904		
ハガキ			2,898
同上			3,150
同上			2,898
同上			3,150
同上			3,150
同上			3,150
電話代			40,508
⑦広告料	0		
⑧手数料	0		
⑨使用料・賃貸料	0		
⑩原材料費	0		
⑪委託料	15,000		
ニュース第2号編集委託			5,000
ポスター制作委託			5,000
ニュース第3編集委託			5,000
⑫工事請負費	0		
⑬報償費	0		
⑭保険料	12,140		
福祉サービス総合保障			8,700
送迎サービス補償			3,440
⑮旅費	4,200		
駐車場代			1,800
同上			2,400
⑯その他	0		
合計	189,669		



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和 3 年 3 月 31 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 竜之口学区防災マップ作成実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ イインチロウ モリタニ トシアキ
代表者役職・氏名 委員長 守谷 俊昭

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 <input type="radio"/> イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="radio"/> オ その他
事業名	竜之口学区防災マップ作成実行委員会
事業実施区域 (小学校区)	竜之口小学校
① 業 実 施 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. マップ改定版の発行について <ul style="list-style-type: none"> ・岡山市発行の最新のハザードマップを活用する。 ・地域の危険場所、避難時に役立つ物、場所（コンビニ・スーパー・自販機等）を再確認 避難所、避難場所、二次避難所などのデータを各町内会から収集し、マップに落とし込む。 2. 警戒レベル情報を記載。 3. 学区全体へ「防災マップ」完成の案内。 4. 各町内会、公共施設、必要施設などに配布。 5. 令和3年2月21日（日）携帯型防災避難マップを活用した学区全体の防災訓練を実施。 6. 色々な集まりの時に災害時の減災のため「竜之口防災マップ」を活用し図上防災訓練等を行う
② 解 決 を 目 指 し た 課 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然災害が少ない地域で学区民の災害に関する意識が薄い。 2. 災害時の避難については会議等でいろいろ話し合いをしていたが、急な自然災害（洪水等）が発生した場合に敏速な避難行動ができる岡山市作成のハザードマップを活用した最新の防災マップ作成が急務です。 3. 要支援等で町内会へ入会されていない人、特にアパートの入居者氏名、人数の把握は個人情報に関する問題点、その為学区全世帯の把握は困難な状態です。また、広報活動も同様に入居者の有無の確認すら困難な場合もあります、災害時（避難）の全世帯広報をどの様に活動するか苦慮しています。 4. 各家庭に配布されている岡山市発行のハザードマップが活用されていない事が判った。 5. 新型コロナウイルス感染症の影響で委員会の開催ができず、諸課題（避難マニュアル・要支援者）の取り組みについて委員全体で会議の開催が出来ず、今後の委員会開催も危ぶまれ不安である。

<p>③ 目的・目標の達成状況</p>	<p>ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況 イ 地域課題掘り起し⇒掘り起こりにより明らかになった課題等 ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等 エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況 オ その他⇒定めた目標の達成状況</p> <p>など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。</p> <p>いざ災害が発生した時に地域の全住民が、最大限、安全にそしてより適正に避難活動ができることが必要であり、個人・地域・行政が情報共有しやすい仕組みを作っていくことを目指すため、学区全体の共有実践資料として「竜之口防災マップ」を作成し各戸へ配付。</p> <p>具体的には、岡山市のハザードマップを活用し住んでいる場所を認識して災害時の一時避難場所や二次避難所、危険区域や通行不可の可能性のある道路、子どもたちの通学路途上の危険箇所などを書き込み、避難訓練や平常時の訓練などに活用できるマップを作成できた。</p> <p>各委員が積極的な協力があり、地域の危険場所等を探索し、また新規にコンビニの協力があり、広場等の避難場所等を追加した。</p> <p>マップの色彩を協議し鮮明度が増し見やすくなった。</p>
<p>④ 企画等の工夫と情報公開</p>	<p>※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 岡山市発行のハザードマップを活用することで自分が住んでいる場所の浸水と（危険度）の確認ができる。 高齢者等にも見て判りやすい、最新の避難警戒レベルを記載。 子ども、高齢者等の目線で避難所までの経路を確認し反映、防災マップ作成実行委員会の進行状況、途中経過等について学区連合町内会の幹事会等を通して各町内会へ伝達。 各町内会へ防災マップを配布。 近隣の主要な施設へ防災マップを配布。 岡山市役所・中区役所・東公民館・高島公民館・竜之口小学校・竜之口幼稚園・竜操消防署 岡山県立東岡山工業・岡山県立豊学校・岡山東支援学校・四御神郵便局・高島交番 東岡山駅前交番・岡山自動車教習所・ファミリーマート長岡店・ながけクリニック・ 電子町内会で公開。
<p>⑤ 次年度計画</p>	<p>※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。</p> <p>地域住民へ防災マップの活用方法、災害時に繋がる資料を作成し配付を予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> ハザードマップが理解できる資料 避難マニュアルの作成が急務

※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。

防災マップ作成実行委員会を6回開催、

2月21日(日)コロナ禍の防災訓練を実施

計画では、参加人数を制限して実施の予定でしたが、当日は200人を超える参加者が有り無事に終わりました。

検温・手指のアルコール洗浄、3密を避けて実施、学区民の防災意識の高まりと向上が図られたと思います。

⑥事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善

○事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

- 1)子ども目線で危険箇所が書かれているのは良いと思います。
- 2)町内会へ未加入のアパート等への配慮が有るのは良いと思います。
- 3)地区としては他辺重要な取り組みです。他学区の模範となるマップとなることに大いに期待します。
- 4)コロナの影響でどう3密を避けて訓練等を実施するのか難しいと思います。がんばってください。
- 5)マップについては、作りっぱなしの物が多い中、今回の物は更新されていくとのこと。新しく作った物をどのように伝達し、活用していくか見せていただきたいと思います。
- 6)実行委員会のメンバーに女性や若い親が少ないことが気になります。
- 7)P13の「()年後には自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい」について、詳しい説明をお願いします。

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み等(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由等について記入してください。)

- 1)昨年作成した防災(携帯)マップは小学校生徒全員へ配付、いつもカバンへ入れている。
- 2)アパートにより個人情報等で配付が困難な宅もあり、いざ災害時には小学校避難所へ集結します、その事もあり、アパートのオーナー等へ防災マップ配付の目的を理解していただく努力を行っています。
- 3)2～3の学区から問い合わせがありマップを差上げました。
- 4)計画では、参加人数を制限して実施の予定でしたが、当日は200人を超える参加者が有り無事に終わりました。検温・手指のアルコール洗浄、3密を避けて実施、学区民の防災意識の向上が図られたと思います。検温については当日の運営スタッフの中に看護師が居り、スムーズな検温に大変助かりました。
- 5)機会ある事にハザードマップを利用した防災マップ活用の重要性を図っています。
- 6)実行委員会が夜間のため夕食、子どもの件等で女性が出にくい事が女性が少ない。但し交通安全母の会の意見等を参考にしている。
- 7)自前でマップを作成するにはお金がかかりすぎます。例えば一世帯100円を徴収すればと思いますが、地域住民の理解と協力が必要になります。当分の間は岡山市の補助金が頼りです。現在の防災マップは土砂、浸水被害を想定したマップで、今後予想されている南海トラフ地震等の地震時の防災マップが必要になります。

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- ⑩ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
竜之口学区連合町内会	各町内会へ応援要請
竜之口学区コミュニティ協議会	パソコンによる作成支援
地区社会福祉協議会	委員(会計を担当)
竜之口小学校	避難所
竜之口幼稚園	避難所
前土田町内会	避難場所、危険箇所等の確認
土田町内会	避難場所、危険箇所等の確認
東四御神町内会	避難場所、危険箇所等の確認
四御神町内会	避難場所、危険箇所等の確認
東ヶ丘第一町内会	避難場所、危険箇所等の確認
西四御神町内会	避難場所、危険箇所等の確認
中四御神町内会	避難場所、危険箇所等の確認
東ヶ丘第三町内会	避難場所、危険箇所等の確認
南四御神町内会	避難場所、危険箇所等の確認
芙蓉町内会	避難場所、危険箇所等の確認
横縄手町内会	避難場所、危険箇所等の確認
東雄町町内会	避難場所、危険箇所等の確認
竜操中学校	委員
ながけクリニック	避難場所
コート一電器	避難場所
東岡山自動車教習所	AED 使用
四御神郵便局	委員
県立東岡山工業高校	避難所、AED 使用
県立豊学校	避難所、AED 使用
竜操消防署	危険箇所等の情報、防災訓練
高島交番	危険箇所等の情報、防災訓練
岡山市消防財田分団	危険箇所等の情報、防災訓練
ファミリーマート長岡店	避難場所

⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
令和2年7月24日	各町内会の防災マップ作成実行委員会、委員へ第1回実行委員会開催の日時と、更新の主旨等を連絡
令和2年9月5日	<p>第1回実行委員会開催</p> <p>竜之口学区防災マップ改訂版の作成について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 岡山市区づくり推進事業（補助金）申請について概略説明 2. 主な変更内容 <ol style="list-style-type: none"> 1) 洪水浸水想定区域（計画規模）変更に伴う改正 2) 避難所、避難場所、広場、高い建物、危険箇所等の写真を追記 3) 避難時に役立つ物等を追記（AED・自販機） 4) 水害・土砂災害の「警戒レベル」防災情報を追記 5) その他（初版の課題等）
令和2年9月27日	<p>第2回実行委員会開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 各町内会の危険箇所・施設等の調査内容を報告 2) 更新する防災マップの内容検討 3) その他
令和2年10月24日	<p>第3回実行委員会開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 第1版に追加、修正箇所等を記入しオーバーヘッドを見ながら説明と確認を行う。 2) 新たな変更、修正ミスについて協議を行う。
令和2年11月14日	<p>第4回実行委員会開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 第3回実行委員会の問題点等をオーバーヘッドを見ながら確認 2) 地域内のAED設置されている公共施設で活用できるか確認し防災マップへ追加記載する。
令和2年11月23日	地域内の公共施設等へAED設置の確認と活用を要請、了解を得る。新規にコンビニへ避難場所の提供を要請、了解を得る。
令和2年12月6日	<p>第5回実行委員会開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 修正、追加等の公共施設のAEDマークの確認、コンビニの避難場所確認 2) 次回開催時には印刷所から校正図を受領し、確認する。各委員に出席を願う。

令和2年12月19日	<p>第6回実行委員会開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.校正(変更、追加項目の確認) 2.印刷注文1月8日(金) 完成1月25日予定 1月末までに各町内会へ配布を確認 3. 今後の変更箇所等あれば12月末まで提出
令和2年12月27日	校正確認(最終確認)
令和3年1月8日	防災マップ印刷を発注
令和3年1月20日	学区民へ改定第3版の配付について広報
令和3年1月27日	印刷完了
令和3年1月30日	各町内会へマップを配付
令和3年2月21日	<p>学区防災訓練を実施</p> <p>防災避難マップを活用した防災訓練(避難訓練)</p>
令和3年3月20日	反省会開催

⑨事業実施メンバー 1/2

	申込団体 での役職	氏名	住所	年齢 (歳代)	備考 (加入団体等)
1	会長				竜之口学区連合町内会 会長 竜之口学区安全安心ネットワーク 会長 東四御神町内会 会長
2	副会長				竜之口学区連合町内会 副会長 竜之口学区安全安心ネットワーク 副会長 四御神町内会 会長
3	副会長				竜之口学区連合町内会 副会長 竜之口学区安全安心ネットワーク 副会長 西四御神町内会 会長
4	実行委員長				竜之口学区防犯防火防災協議会会長 竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 南四御神町内会 会長
5	会計				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口地区社会福祉協議会 会長
6	委員				竜之口学区連合町内会 事務局長 竜之口学区安全安心ネットワーク事務局長 前土田町内会 会長
7	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 東ヶ丘第三町内会 会長
8	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 土田町内会 副会長
9	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 中四御神町内会 会長
10	委員				竜之口学区環境衛生協議会 会長 竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 東雄町町内会 会長
11	委員				学区交通安全対策協議会 会長 竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 横縄手町内会 会長
12	監査				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 芙蓉町内会 会長
13	監査				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 東ヶ丘第一町内会 会長
14	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口学区コミュニティ協議会 会長 地区民生委員児童委員協議会 会長
15	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口学区体育協会 会長
16	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口小学校 校長
17	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口小学校 教頭
18	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口幼稚園 園長
19	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口小学校PTA 会長

⑨事業実施メンバー 2/2

	申込団体 での役職	氏名	住所	年齢 (歳代)	備考 (加入団体等)
20	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜操中学校PTA 竜之口地区 代表
21	委員				四御神町内会
22	委員				四御神町内会
23	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口学区交通安全母の会 会長
24	委員				南四御神町内会
25	委員				南四御神町内会
26	委員				南四御神町内会
27	委員				南四御神町内会
28	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口小学校 PTA 会長
29	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 四御神郵便局 局長
30	委員				土田町内会
31	委員				土田町内会
32	委員				竜之口学区コミュニティ協議会 東ヶ丘第三町内会
33	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 岡山市消防団財田分団
34	委員				前土田町内会
35	委員				前土田町内会
36	委員				前土田町内会
37	委員				横縄手町内会
38	委員				東雄町町内会
39	委員				東四御神町内会
40	委員				中四御神町内会

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
岡山市補助金	147,500	147,500	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	147,500	150,539	連合町内会負担
参加者負担金			
協賛金			
寄付、他収入			
計	295,000	298,039	

◆ 支 出

単位:円

費 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	15,000	9,079	キャノンインク
②食糧費	10,000	0	
③印刷製本費	270,000	288,960	会議資料・マップ印刷代
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費			
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料			
⑮旅費			
⑯その他			
計	295,000	298,039	

費目別支出金額

費目	合計金額	領収書明細	金額
①消耗品費	9,079	①キャノンインク ②キャノンインク	3,821 5,258
②食糧費	0		
③印刷製本費	288,960	③会議資料 ④会議資料 ⑤マップ印刷代	1,760 18,400 268,800
④燃料費	0		
⑤光熱水費	0		
⑥通信運搬費	0		
⑦広告料	0		
⑧手数料	0		
⑨使用料・賃貸料	0		
⑩原材料費	0		
⑪委託料	0		
⑫工事請負費	0		
⑬報償費	0		
⑭保険料	0		
⑮旅費	0		
⑯その他	0		
合計	298,039		